

## 第2回スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想策定審議会

日時:令和6年12月24日(火)

午後1時30分~3時30分

会場:市役所5階全員協議会室

### 次 第

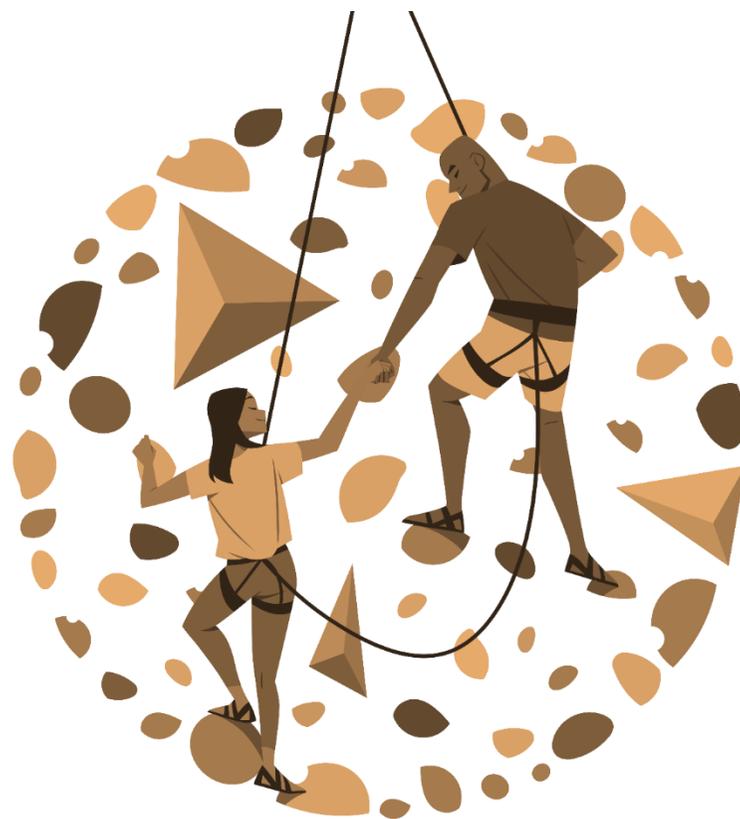
1 開 会

2 議 題

(1)スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想(案)について

3 その他

4 閉 会



## 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」基本構想（案）

龍ヶ崎市健康スポーツ部スポーツ推進課

# 進行

- |    |               |
|----|---------------|
| 1. | 第一回審議会振り返り    |
| 2. | 基本構想アップデートの共有 |
| 3. | 基本構想に関する審議    |

# 第一回審議会にて頂戴した意見を基本構想に反映しております。 本日は各種調査結果を踏まえアップデートした基本構想について審議いただきます。

## 審議会第1回目の要約

### 【主な発言の要約】

### 【発言者】

まちづくり事業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設とその運営内容を具体化(いつまでに何をするのか明確化)する必要あり</li> <li>➢ 先進都市は競合ではなく、連携する対象と捉えるべき</li> <li>➢ 壮大な計画よりも、現実的に、トップアスリートに絞ってやる方が良いのではないか</li> <li>➢ スポーツライミングを通して市が活気づくとよい</li> </ul>	橘川委員 浅野委員 後藤委員	櫻井委員
組織のありかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 推進主体が重要、スポーツライミングが前に出るような組織づくりをお願いしたい</li> </ul>	橘川委員	
練習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ハード作るにあたっては、公設民営は難しく、民設民営を目指す</li> <li>➢ まずはハードを整え、ソフトは柔軟に対応していく方針が良いのではないか</li> <li>➢ 施設と指導者の両方が、あらゆる層に対して不十分。指導者支援も重要</li> </ul>	橘川委員 渡部委員	
普及・学校連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 小学校の肋木にウォールを設置し、子供たちに体験してもらいたい</li> <li>➢ 小中高の連携は難しく、部活動はもとより、外部講師呼ぶのも大変</li> <li>➢ 体験会だけやっても全国的に活躍する選手は生まれない</li> </ul>	木村委員 浅野委員	
産業連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大会やイベント等と連携できるとよい。(まいりゅうやコロッケとのコラボ等)</li> </ul>	望月委員	
プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ アニメとのコラボによる聖地化や、オブジェの設置等による市民への意識づけが必要</li> </ul>	後藤委員	

審議会での議論	① 基本構想更新版のご共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 調査結果を踏まえた基本構想への新たな反映箇所のご共有</li> </ul>
	② 議論の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 個別アクションに対する審議</li> </ul>

# 第一回審議会でのご意見を踏まえ、基本構想のアクションに反映しております

## 審議会意見に対する基本構想への反映方針

カテゴリ	ご意見	対応方針	ページ
まちづくり事業の進め方	施設とその運営内容を具体化(いつまでに何をするか明確化)する必要あり	各アクションごとに実施内容・検討内容を具体化の上、取り組み開始時期を明確化	P.17
	先進都市は競合ではなく、連携する対象と捉えるべき	スポーツライミングに注力している近隣他都市(銚田市等)を中心に、賑わい創出における告知等、相互に連携を図る方針	P.22
	壮大な計画よりも、現実的に、トップアスリートに絞ってやる方が良いのではないか	アクション数の見直しを行い、トップアスリートへの支援も含めまちづくりとして町全体への取り組みの還元を図っていく	P.17
	スポーツライミングを通して市が活気づくとよい	賑わい創出・プロモーション領域を通して市内の機運醸成を図る	P.22
組織のありかた	推進主体が重要、スポーツライミングが前に出るような組織づくりをお願いしたい	推進主体の確立に向けた人材確保の取り組みを進める方針	P.27
練習環境	ハード作るにあたっては、公設民営は難しく、民設民営を目指するとよい	新たなハード施設が必要であるため、設置に向けて検討を進める(実態把握に向けたヒアリングを予定)	P.26
普及・学校連携	まずはハードを整え、ソフトは柔軟に対応していく方針が良いのではないか	ハード整備とソフト事業の実施の両軸推進を図っていく方針	P.19
	施設と指導者の両方が、あらゆる層に対して不十分。指導者支援も重要	人材確保の中で指導者の確保も含めていく方針	P.19
	小学校の肋木にウォールを設置し、子供たちに体験してもらいたい	学校連携の中で、子供たちに効果的に体験してもらうための環境(既存施設等を活用した体験機会の創出など)について検討する方針	P.19 P.26
	小中高の連携は難しく、部活動はもとより、外部講師呼ぶのも大変		P.19
	体験会だけやっても全国的に活躍する選手は生まれにくい	継続的に取り組んでもらえるようなスキーム及び環境確保を目指す	P.19
産業連携	大会やイベント等と連携できるとよい。(まいりゅうやコロッセとのコラボ等)	賑わい創出や産業連携の中でスポーツライミングをきっかけとした地域の魅力発信に取り組む方針	P.22
プロモーション	アニメとのコラボによる聖地化や、オブジェの設置等による市民への意識づけが必要	市内へのプロモーションにおいて、アートやオブジェの活用による認知拡大・興味関心の獲得に取り組んでいく	P.23

# 目次

1. 本構想の位置づけ・目的	
1-1. 基本構想の策定背景	省略
1-2. 国のスポーツ振興の動向	
1-3. 上位計画を踏まえた位置づけ	
2. 策定方法	
2-1. 仮説検証型策定プロセス P5	再掲
3. 基本構想の検討に向けた調査	
3-1. 調査設計	省略
3-2. 外部環境調査	
市場調査結果	
競合他都市調査結果	
3-3. 内部環境調査	
自市資源調査結果	別紙
有識者ヒアリング結果	
WS実施結果	

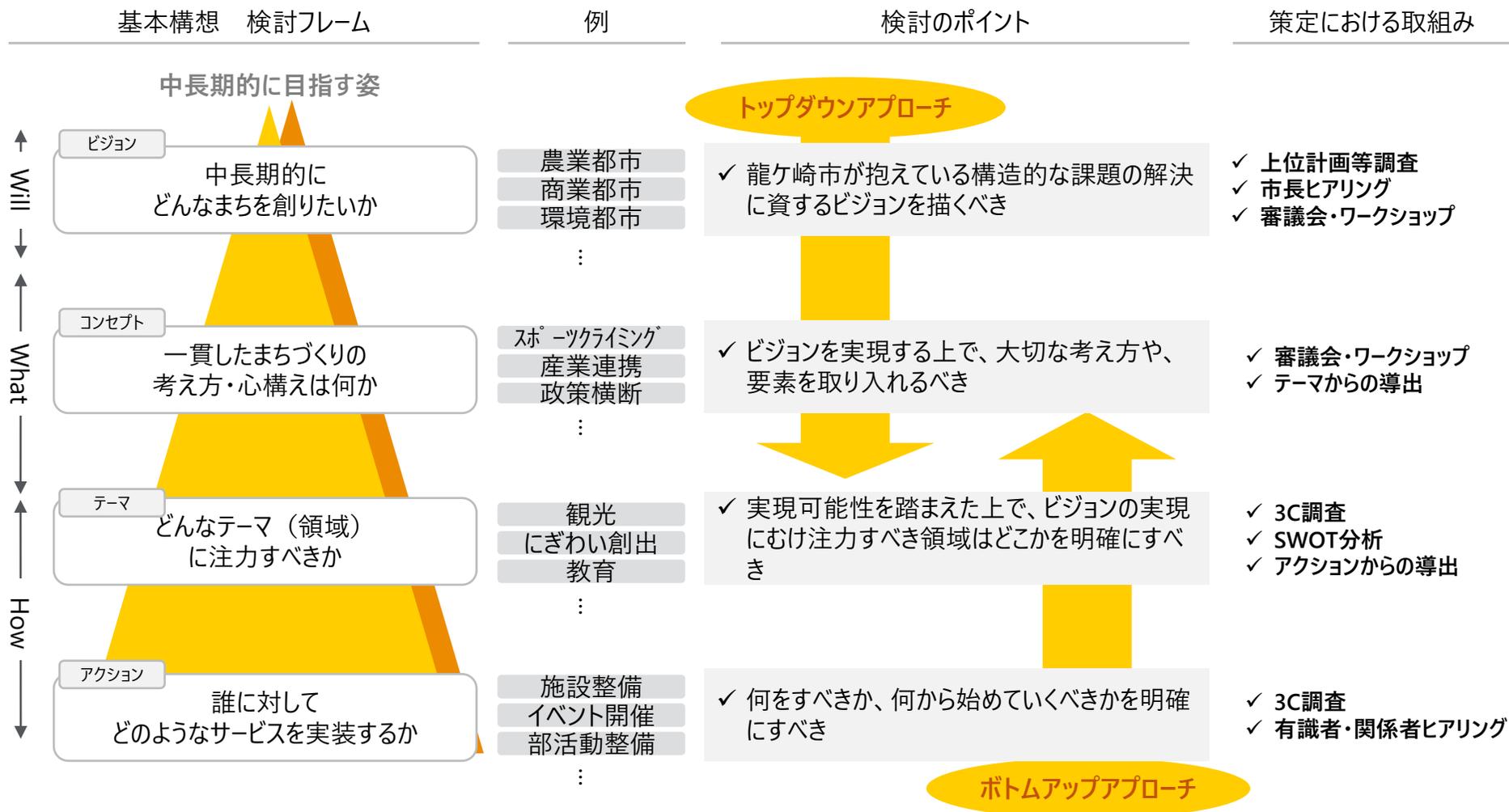
4. 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の目指す姿	
4-1. ビジョンの策定 P10	修正・再掲
4-2. 基本構想の全体像 P11	
5. 施策内容	
5-1. 施策一覧 P15	新規共有
5-2. 各施策の詳細 P18	
6. ロードマップ	
展望 P30	新規共有
計画 P31	新規共有

## 2. 策定方法

### 2-1. 仮説検証型の策定プロセス

# 基本構想にて定めるべきビジョン、コンセプト、テーマ、アクションについて、トップダウン・ボトムアップの双方向から検討・整理し、計画を策定します

## 基本構想の考え方

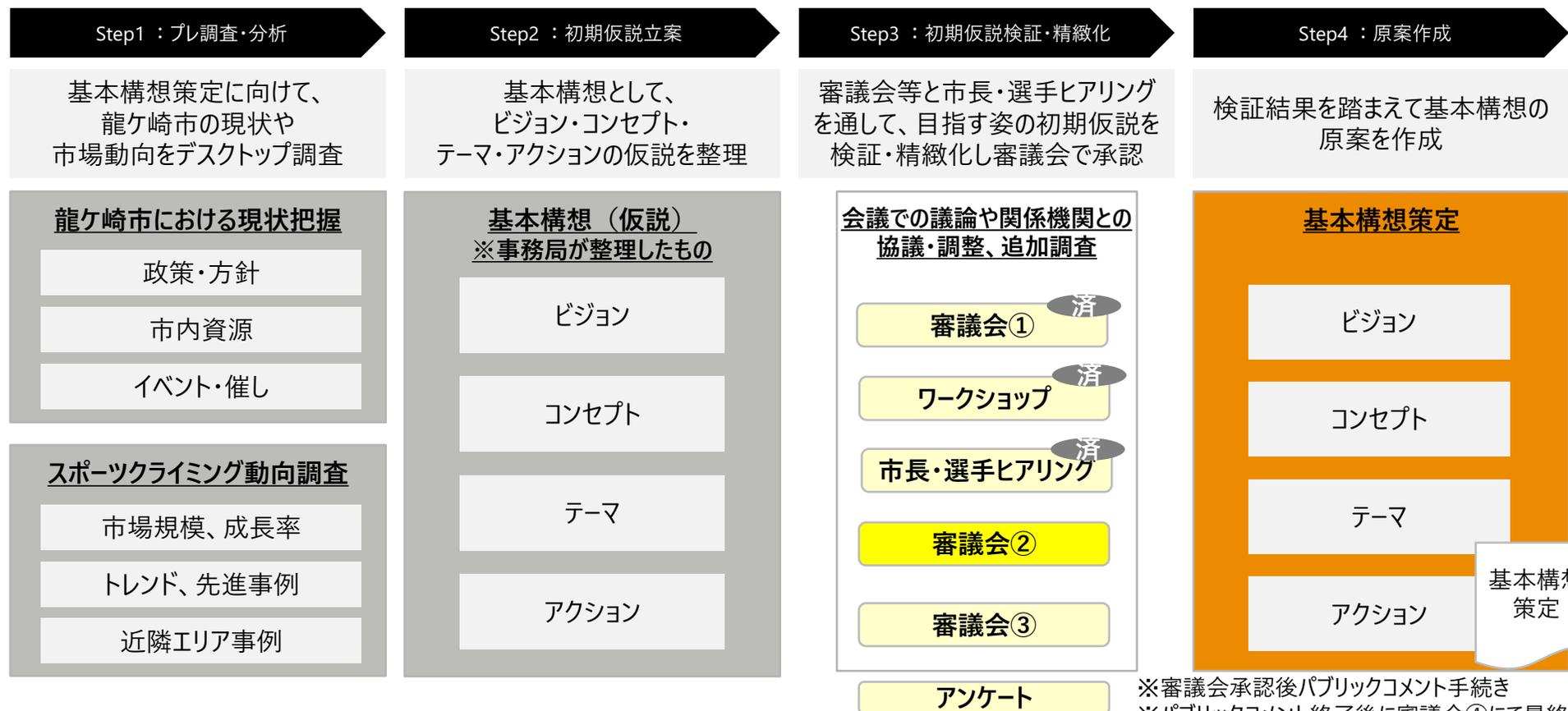


# 基本構想の策定に向けて、調査・分析結果から導出した目指す姿の仮説を基に、ヒアリングや審議会等を通して基本構想を策定します。

## 基本構想策定アプローチ

### 基本構想作成のポイント

- 龍ケ崎市の現状や市場動向の調査結果を基に、スポーツライミングのまちとして目指す姿の初期仮説を作成し、**市内ステークホルダーの想いや実現性に関するご意見を踏まえた精緻化を行う**ことで、基本構想の原案作成を行う



※審議会承認後パブリックコメント手続き  
※パブリックコメント終了後に審議会④にて最終承認・答申

# 第二回目の審議会では、第一回目審議会結果やワークショップ・ヒアリングを踏まえて更新された基本構想について審議します

## 審議会運営に係る支援方針

回数	第1回	第2回	第3回
時期	2024年11月15日	2024年12月24日	2025年1月17日
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本事業や審議会の位置づけ・年度内スケジュールの共有を行う</li> <li>✓ 調査結果の共有及び初期仮説の提示を通じた基本構想の構成の合意を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ワorkshop・ヒアリングの内容を共有</li> <li>✓ 基本構想（更新版）の内容の共有</li> <li>✓ テーマ別の個別アクションの実施方針について審議を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第二回審議会の結果を踏まえ最終化した基本構想の内容の合意を図る</li> </ul>
想定議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 開会挨拶</li> <li>② 審議会委員の紹介</li> <li>③ 市長挨拶</li> <li>④ 事業・本審議会趣旨説明</li> <li>⑤ 基本構想策定スケジュール共有</li> <li>⑥ 基本構想(素案)共有 &lt;将来像・ビジョン&gt;</li> <li>⑦ 次回審議会の案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第1回審議会の振り返り</li> <li>② ヒアリング内容の共有</li> <li>③ ワorkshop内容の共有</li> <li>④ アンケート結果(速報値)の共有</li> <li>⑤ 基本構想修正（案）の共有 &lt;将来像・ビジョン&gt; &lt;個別アクション&gt; &lt;ロードマップ&gt;</li> <li>⑥ 個別アクションに係る審議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 基本構想（最終版）の共有</li> </ul>

※パブリックコメント終了後に審議会第4回にて最終承認・答申

## 4. 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の目指す姿

# 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030のあるべき姿の達成にもつなげる「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の目指すべき姿として、将来ビジョンを策定しました。

## ビジョン策定(案)

龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の価値  
(ヒアリング・ワークショップより抽出されたあるべき姿の代表的な意見)

「自ら考え、行動する」から  
生まれる「協働」のまちづくり

**Creation**

笑顔が続く 幸せが続く  
住み続けたいまち 龍ヶ崎  
そんなまちを みんなで創るために  
始めよう そして 動き出そう  
一人ひとりの Creation

市民に信頼される「納得性」  
の高いまちづくり

時代の変化に対応した  
「住みよい」まちづくり

+

機能的価値

大規模な大会が  
開催されている  
龍ヶ崎市に  
トップアスリートがいる  
様々な場所でスポーツ  
ライミングに触れられる環境  
がある

心理的価値

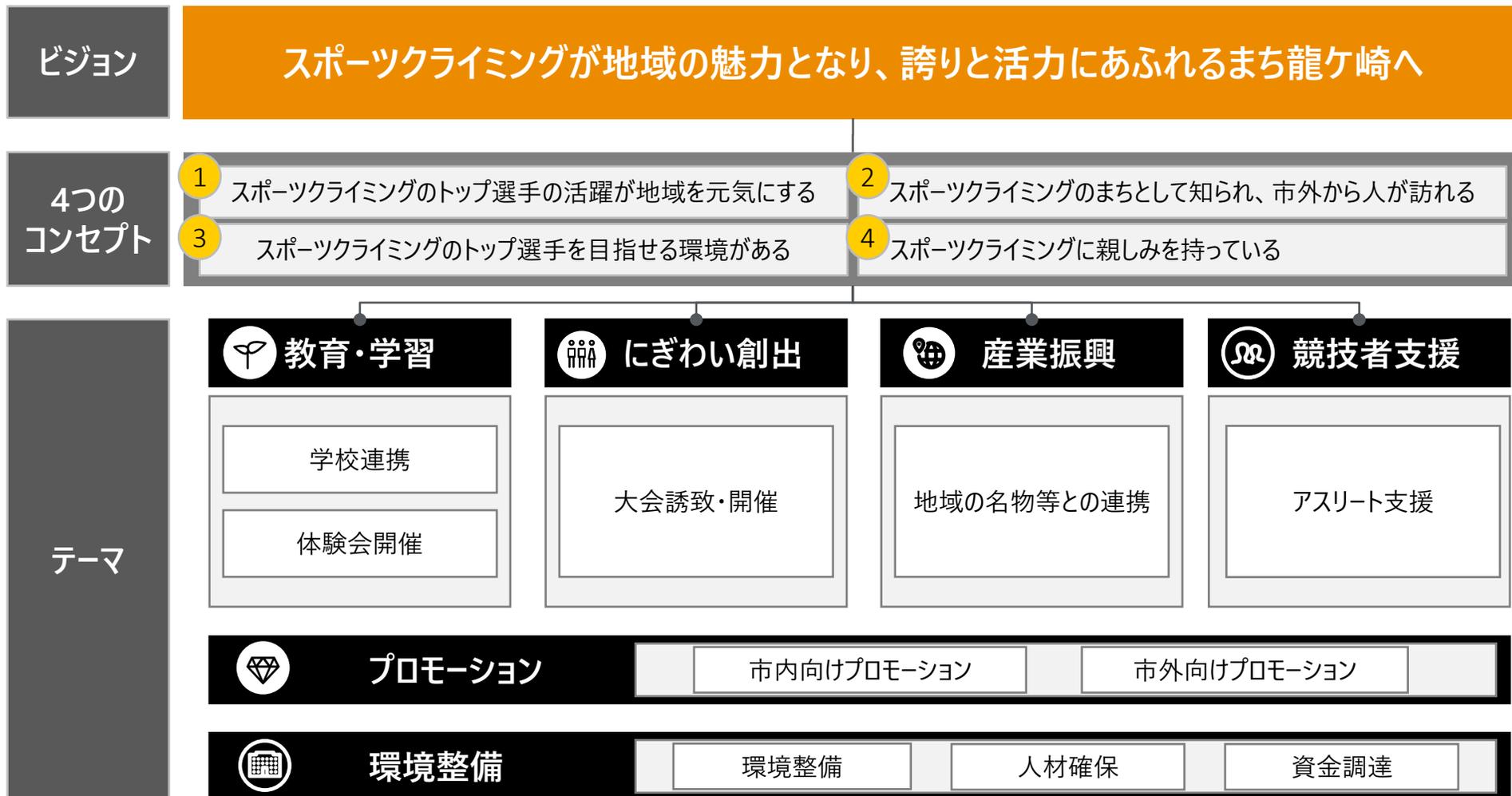
スポーツライミングを  
身近に感じる  
スポーツライミングに  
誇りを持っている  
スポーツライミングでにぎわい  
やつながりが生まれている

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」のビジョン

スポーツライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

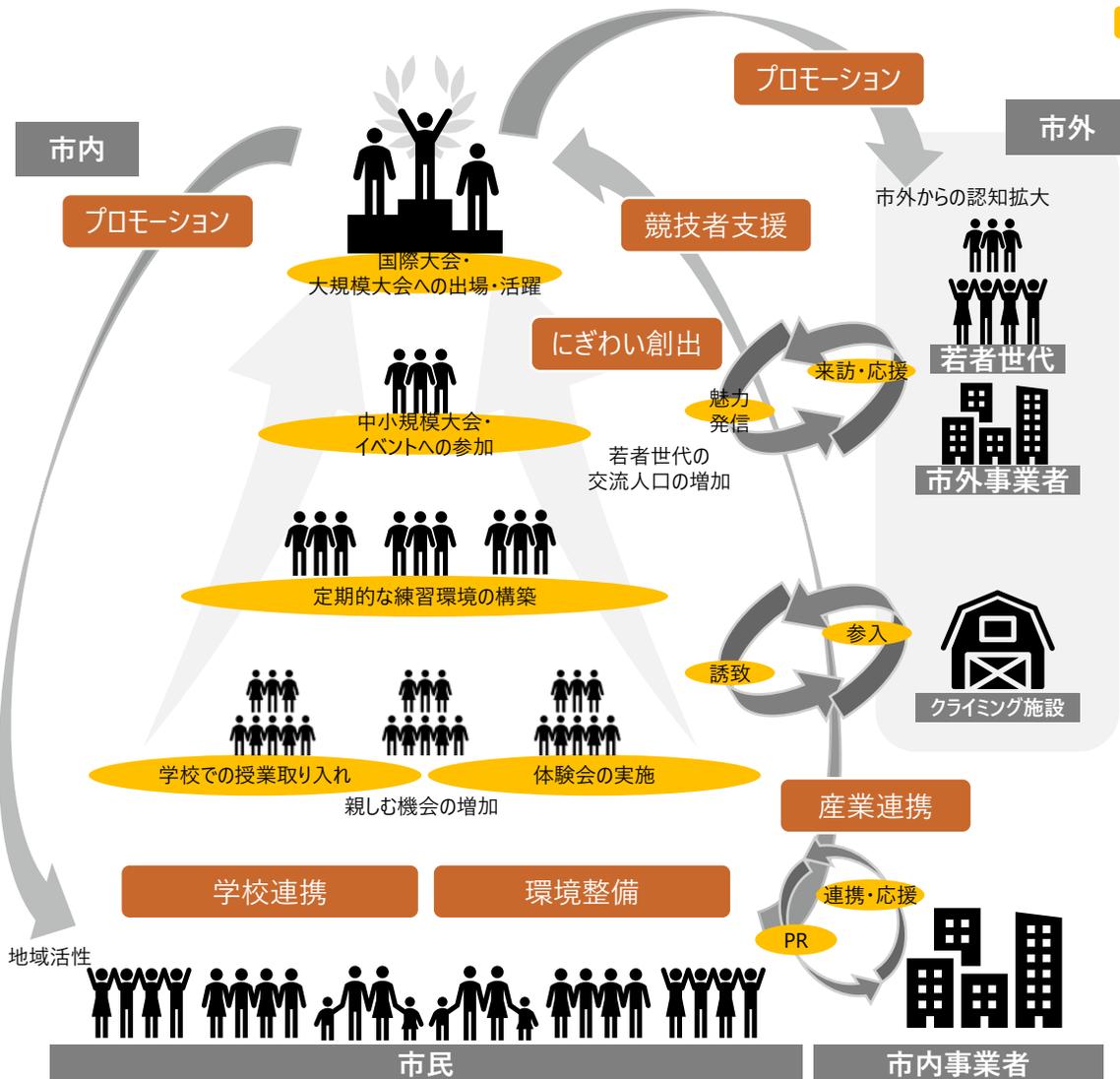
# スポーツライミングを通じた政策横断的な取り組みを推進し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現を目指します。

## 基本構想の全体像



# 市民がスポーツライミングに親しみ、選手の活躍が地域の活性化や市外からの認知と交流人口の拡大に繋がる好循環の実現に向けて、仕組みと環境を整備していきます

## 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」実現のイメージ



### ビジョン

スポーツライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

#### 4つのコンセプト

- ① スポーツライミングのトップ選手の活躍が地域を元気にする
  - 身近なトップ選手の活躍により地域が元気になる
  - トップ選手や未来のある選手を地域が一体となって応援する機運や取り組みが生まれている
- ② スポーツライミングのまちとして知られ、市外から人が訪れる
  - 市外から「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の取り組みが認知されている
  - 市内の取り組みや資源に市外から人が訪れている
- ③ スポーツライミングのトップ選手を目指せる環境がある
  - 大会出場やさらなるスキル向上を目指し定期的に練習できる環境(ハード・指導者)が整っている
- ④ スポーツライミングに親しみを持っている
  - スポーツライミングの体験や応援を通して魅力を感じている
  - スポーツライミングのトップ選手を身近に感じている

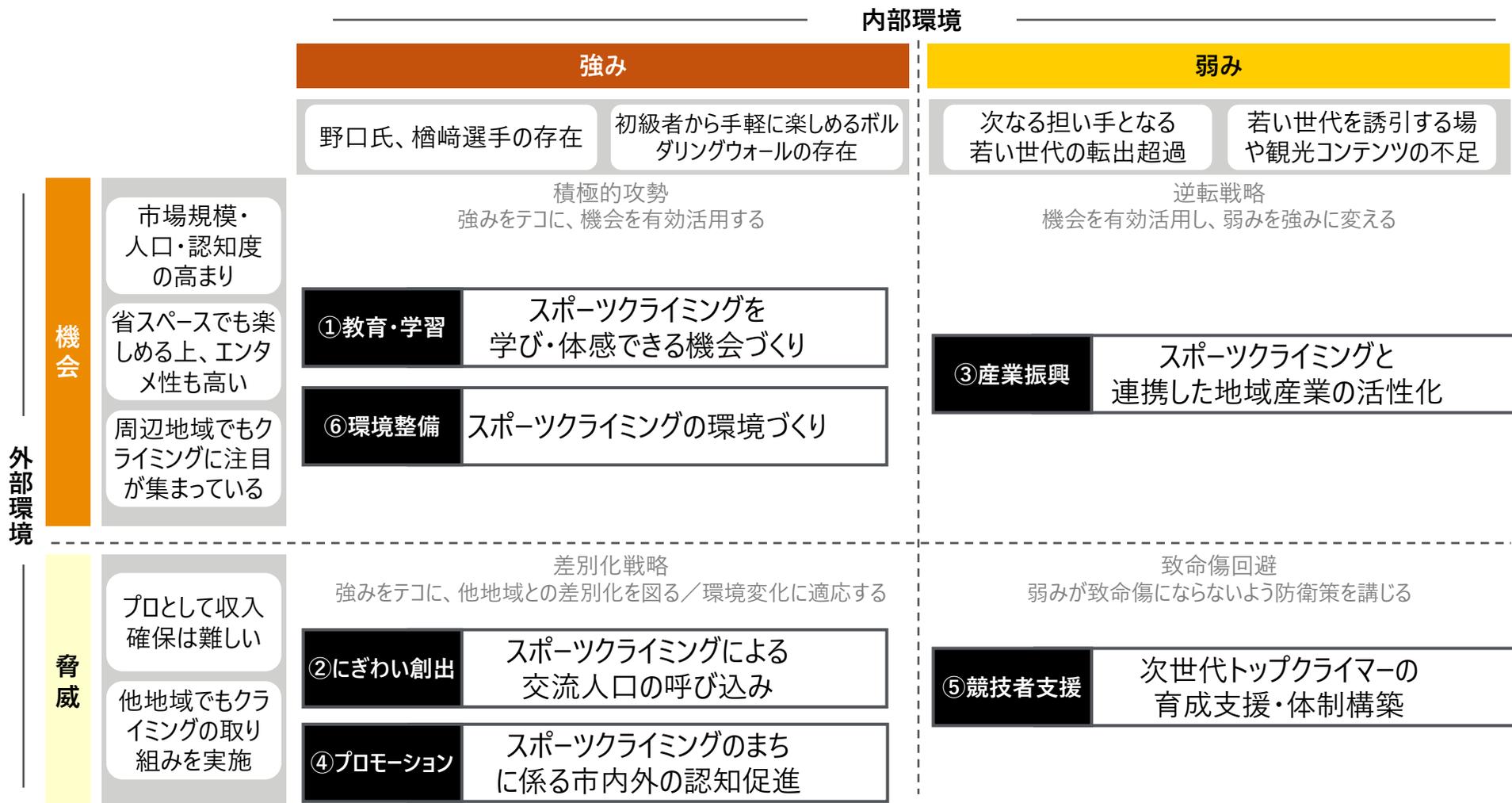
# 3C(自社：Company、市場：Customer、競合：Competitor)の観点を採用した調査結果をSWOTの観点で整理しました。

## 調査項目

		調査項目	調査結果
外部環境調査	市場調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スポーツライミングの特徴</li> <li>✓ スポーツライミングに関するトレンドや先進事例</li> <li>✓ スポーツライミングの市場規模や成長率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オリンピックの正式種目として採用された東京五輪以降、スポーツライミングの市場規模・人口・認知度は拡大中 <b>機会</b></li> <li>■ 省スペースでも出来る都市型のスポーツとして、専用ジム増加 <b>機会</b></li> <li>■ エンタメ性が高く、観戦者も楽しめるイベントや大会が多く開催 <b>機会</b></li> <li>■ 国内に推定約279万人のスポーツライミング愛好者がいるが、専業で十分な収入が得られるプロ選手は僅か <b>脅威</b></li> </ul>
	競合調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 茨城県内/外におけるスポーツライミングの施設調査</li> <li>✓ 茨城県内/外でスポーツライミングによる地域活性化を行っている自治体の動向調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 周辺地域におけるスポーツライミング施設の増加 <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県内（つくば市・笠間市・銚田市・大子町等）においても、スポーツライミングに注力する自治体が存在</li> </ul> </li> <li>■ 他地域におけるスポーツライミングの注力度向上 <b>脅威</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県伊賀市、佐賀県多久市、東京都昭島市、埼玉県小鹿野町等がアーバンスポーツに注力</li> </ul> </li> </ul>
内部環境調査	自市調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スポーツライミングを通じた地域活性化に必要な資源、戦略に合致する資源の調査</li> <li>✓ 観光地、飲食、宿泊施設、イベント会場・にぎわい拠点等の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 野口氏、檜崎選手が龍ヶ崎市に在住 <b>強み</b></li> <li>■ 初心者から手軽にスポーツライミングを楽しめるたつのこアリーナの存在 <b>強み</b></li> <li>■ 次なる担い手となる若い世代の転出超過 <b>弱み</b></li> <li>■ 若い世代を誘引する観光コンテンツ、まちのにぎわい創出の拠点・プラットフォームとなるような場の不足 <b>弱み</b></li> </ul>

# 内部調査・外部調査の結果を踏まえてSWOT (強み・弱み・機会・脅威)分析を行い、龍ヶ崎市で注力すべきテーマを整理しました

## 調査項目と結果要約



## 5.施策内容

### 5-1.施策一覧

### 5-2.各施策の詳細

# 具体的なアクションの策定においては、スポーツライミングおよび、それを活用したまちづくりに関する調査から、参考となるポイントを得ました

## デスクトップ調査/審議会/有識者ヒアリング/ワークショップを踏まえた、アクション策定のポイント

テーマ	アクション策定におけるポイント	ポイント導出に係る示唆・意見	
①教育・学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校と連携して、子どもたちがスポーツライミングに親しむ機会や環境の整備</li> <li>人が集まる場所やイベントで誰もがスポーツライミングに親しむことが出来る機会の提供</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ライミングのまちとして、全ての子どもたちがライミングの体験機会を有することが特徴的な取組となるため、教育機関との連携が必要である</li> <li>世代問わず、スポーツライミングに親しむ人を増加させる必要がある</li> </ol>	<p>市長ヒアリング</p> <p>WS</p>
②にぎわい創出	<ol style="list-style-type: none"> <li>人が多く訪れ注目度の高い大規模大会誘致や、誰もが参加できる市民参加型の大会の実施</li> <li>プレイヤーや関係者だけでなく、無関心層も楽しめる工夫</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>交流人口増加・認知度の拡大に向けて、大会は重要な手段。また、市民向けの大会を実施することで、より市民を巻き込める。</li> <li>アート等の他分野のコラボレーションにより、無関心層の取り込みも実現可能。</li> </ol>	<p>選手・市長ヒアリング</p> <p>デスクトップ調査</p>
③産業振興	<ol style="list-style-type: none"> <li>スポーツライミングをきっかけとした地域産業の発展への寄与</li> <li>名産品や観光拠点など地域の魅力をライミングと掛け合わせることで生まれる商品やサービス等の開発</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>大会やイベントの活用により特産品の認知・需要拡大に加え、交通・宿泊・飲食等周辺の関連産業の発展にも寄与することが可能</li> <li>スポーツライミングを活用したフェスやツアー等の実施やグッズの開発等により地域の産業振興や魅力発信のきっかけになる</li> </ol>	<p>WS</p>
④プロモーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>市内向け：市内の認知度・愛着の向上を目的としたトップ選手の連携や、ロゴやグッズ等コンテンツの制作</li> <li>市外向け：来訪者の増加や、企業連携の促進を見据えた大会やイベントをきっかけとしたコンテンツの発信</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地元在住のトップ選手らのメディア露出や露出媒体の制作により、市のブランド力向上や、市民のシビックプライド醸成が期待できる</li> <li>個人・スポーツ団体・民間企業等がスポーツライミングの取り組みを通して発信力を強化し、市外からの交流人口の増加や認知度の向上に寄与できる</li> </ol>	<p>選手・市長ヒアリング</p> <p>デスクトップ調査</p>
⑤競技支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>トップ選手の移住や、在住選手、次世代選手らのさらなる活躍を後押しするため、資金助成、移住、練習環境、地域コミュニティへの参加等の支援</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>トップ選手には資金的な支援が必要。選手の支援により愛郷心をはぐくみ、将来的に地域に根付く人材になることが望ましい。</li> <li>次世代クライマーが活躍する土壌が生まれることで、選手のライミングの活躍により、地域及び人材の還流につながる</li> </ol>	<p>デスクトップ調査</p> <p>市長ヒアリング</p>
⑥環境整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>継続的な練習に必要な規模の環境の整備や持続的な事業推進に向けた人材の確保</li> <li>事業推進に必要な資金の確保</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>練習・大会が可能な環境整備（常設・仮設）が必要な状況</li> <li>継続的な事業推進には、担い手が必要。地域おこし協力隊など国の制度を活用した人材確保の取り組みが有効的</li> <li>補助金や企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等の活用により資金を確保しアクションの推進に充てていくことが可能。</li> </ol>	<p>選手ヒアリング</p> <p>デスクトップ調査</p>

# 事業テーマ案を具体化したアクション案をたたき台として、審議会・WSの意見を織り込み、スポーツライミング推進に資する有機的なアクション計画へと精緻化します

## 事業テーマ案に紐づくアクション（案）

テーマ	アクション	概要	想定実施時期
①教育・学習	1 学校連携	教育機関におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出 (授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等)	令和7年度～
	2 体験会開催	市内のイベントやにぎわいの場におけるスポーツライミング体験会の開催	令和7年度～
②にぎわい創出	3 大会の誘致・開催	大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出場できる大会等を誘致・開催や、無関心層の取り込みができる工夫を実施	令和6年度～
③産業振興	4 地域の名物等と連携	スポーツライミングを活用し、市内事業者との新規事業や取り組みを組成	令和7年度～
④プロモーション	5 市内に向けたPR	龍ヶ崎市におけるスポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に活用可能なコンテンツを作成	令和7年度～
	6 市外に向けたPR	「スポーツライミングのまち」及び龍ヶ崎市の魅力を市外へPRするためのコンテンツ製作・発信	令和8年度～
⑤競技支援	7 アスリート支援	トップ選手や次世代クライマーを対象とした資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携意向を創出	令和8年度～
⑥環境整備	8 スポーツライミング環境整備	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境の整備及び実現に向けた検討・誘致	令和7年度～
	9 人材確保	国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保	令和8年度～
	10 資金調達	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の施策実行に伴う財源確保に向けた仕組みや制度を設計する	令和7年度～

## **5.施策内容**

5-1.施策一覧

**5-2.各施策の詳細**

# 市内の教育機関と連携してスポーツライミングの体験・学びの機会の創出や、定期的な練習機会の整備を通じて、若年層に向けた普及促進を図ります

## アクション【1】学校連携

<b>施策概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育機関におけるスポーツライミングの体験・学習の機会の創出</li> </ul>	<b>施策イメージ</b>	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内若年層のスポーツライミング体験を通して、スポーツライミングの普及促進を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育機関と連携し、子どもたちがスポーツライミングに触れることができる機会の創出を図る。</li> <li>■ 取り組み意欲が高い子どもが定期的に練習できる環境を整備する</li> </ul> <p>&lt;実施内容案&gt; 教育機関と①②の実現可能性について検討し、目的に沿った事業の設計を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業・放課後等でのスポーツライミングの体験・学習機会の創出</li> <li>② 定期的に練習が可能な機会や制度(地域クラブ活動化)等の確立</li> </ol>	
<b>ステークホルダーと役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課 本アクションに関する全体方針検討、市内教育機関との調整</li> <li>龍ヶ崎市教育委員会・市内小中学校・たつのこアリーナ指定管理者 年間を通じた体験、学習機会の設計及び体験場所の検討</li> <li>スポーツライミング団体・選手 学校での体験会の運営、練習会の実施、キャリア教育等での講師</li> </ul>	<div style="background-color: #FFD700; padding: 5px; text-align: center;"> <b>①スポーツライミング体験・学習が可能な機会・場所の創出</b> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="text-align: center;">               体育の授業 での体験         </div> <div style="text-align: center;">               校内での ウォール設置         </div> <div style="text-align: center;">               キャリア教育 の授業         </div> </div>	<div style="background-color: #FFD700; padding: 5px; text-align: center;"> <b>②定期的に練習可能な機会の創出</b> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="text-align: center;">               場所 の確保         </div> <div style="text-align: center;">               実行体制 スキームの 検討         </div> <div style="text-align: center;">               指導人員 の確保         </div> </div>
<b>次年度以降取り組む内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育機関におけるスポーツライミング体験やキャリア教育の授業への組み込み機会やルールの整理・検討</li> <li>スポーツライミング実施場所の確保に向けた検討(ハード設置/アリーナ訪問)</li> <li>体験指導人材・キャリア教育人材の確保</li> </ul>		<b>収益・コスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コスト：体験会等実施に係る機材費・人件費</li> </ul>	

# 市内のスポーツライミングの普及促進・人口増加を目指して、多数の人が集まる場を活用したスポーツライミングの体験機会の提供を行います

## アクション【2】体験会開催

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内のイベントやにぎわいの場におけるスポーツライミング体験会の開催</li> </ul>	<p><b>施策イメージ</b></p>	
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内におけるスポーツライミングの競技者数の増加</li> <li>主に市内におけるスポーツライミングの魅力発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 龍ケ崎市民を対象とした、市内集客施設・スペース等での体験会開催・既存イベントと連携した体験会の開催                      &lt;連携先施設・スペース（案）&gt;                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・たつのこアリーナ</li> <li>・市役所</li> <li>・にぎわい広場</li> <li>・流通経済大学</li> <li>・市内商業施設</li> <li>・森林公園</li> </ul> </li> </ul>	
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進課 本アクションに係る全体方針検討、連携候補イベントの整理・協力打診</li> <li>・スポーツライミング関係者 体験会ブースの企画・運営</li> <li>・商工会・観光物産協会 連携候補イベントの洗い出し</li> <li>・イベント実行団体・委員会・スペース提供事業者 体験会スペースの提供に向けた各種調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 龍ケ崎市内外から人が集まる大規模イベントにおけるスポーツライミング体験会の開催                      &lt;連携先イベント（案）&gt;                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・いがっぺ市</li> <li>・まいんバザール</li> <li>・たつのこマルシェ</li> <li>・さくらまつり</li> </ul> </li> </ul>	 
<p><b>次年度以降取り組む内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験会の開催が可能な市内のにぎわいイベントや場の整理</li> <li>・体験会実施に向けた関係者への打診・調整</li> <li>・市内向けイベントと連携した体験会の開催</li> </ul>	<p><b>収益・コスト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益：体験会での物販売り上げ（出展有の場合）</li> <li>・コスト：体験会開催に伴う出展費、その他設備費・人件費</li> </ul>	

# 市内外の交流人口拡大と地域経済への還流を目指し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を象徴する大会を誘致・開催します

## アクション【3】大会の誘致・開催

<b>施策概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出席できる大会等を誘致・開催や、無関心層の取り込みができる工夫を実施</li> </ul>	<b>施策イメージ</b>
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として象徴的なにぎわいイベントの開催により交流人口の拡大と地域経済の活性化及び無関心層の巻き込みを図る</li> </ul>	
<b>ステークホルダーと役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課 大会コンセプトの検討、関係者調整、市内機運の醸成/ボランティアの確保</li> <li>商工会・観光物産協会・商工観光課 事業者の連携、協力</li> <li>イベント事業者・スポーツライミング関係団体 大会誘致、開催運営、選手の募集</li> <li>PR事業者 大会、にぎわいのプロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を象徴する市内外から参加・観戦されるような、トップ選手の集まる大会を誘致・開催する                      &lt; 誘致大会例 &gt;                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Japan Cup</b>(主催：日本山岳・スポーツライミング協会) 国内最高峰の大会。日本のでトップクライマーが集結</li> <li>● <b>World Cup</b>(主催：国際スポーツライミング連盟) 世界最高峰の大会。世界中からトップクライマーが集結</li> </ul> </li> <li>■ 市民も競技者として参画可能な大会・イベントを開催する (例：ユース大会、誰もが参加できる市民大会等)</li> <li>■ 市内の既存にぎわいイベントとの告知連携や、フードやファッション、音楽等を活用したフェス等ににぎわいづくりによる無関心層の取り込みを図る (例：いがっぺ市・まいんバザール・たつこのマルシェ、つくばね祭など)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #cccccc;">イメージ ロゴ</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #cccccc;">イメージ ロゴ</div> </div> 
<b>次年度以降 取り組む内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会開催に向けたコンセプト設計</li> <li>大会誘致費用の精査及び開催実現に向けた資金調達</li> <li>誘致の実現に向けた競技団体との調整</li> <li>会場及び体制の整備・構築</li> <li>市内にぎわいイベントとの連携・調整</li> </ul>	<b>収益・コスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益： 参加費、協賛費</li> <li>・コスト： 大会誘致・開催費</li> </ul>

# スポーツライミングをきっかけとした地域産業振興に資する連携を図り、 「スポーツライミングのまち」としての関係人口増や事業推進に係る機運醸成を目指します

## アクション【4】地域の名物等との連携

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツライミングを活用し、市内事業者との新規事業や取り組みを組成</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>施策イメージ</b></p>
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者との連携による地域産業振興への寄与</li> </ul>	
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課 事業所管、新規事業・取り組みの組成支援</li> <li>商工会・観光物産協会・商工観光課 市内事業者のニーズ把握</li> <li>地元事業者 スポーツライミングを活用した事業の組成、展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内事業者との新規事業・新規取組の組成を推奨し、地域振興とプロモーションの両軸を推進する              &lt;「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」と連携した地域プロモーション例&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>コロッケ型のホールドの作成</li> <li>大会等にぎわいイベントにおける地元企業の出店</li> <li>公共交通機関のつり革をホールドに変更</li> <li>クライミングウォールへのまいりゅうの掲載</li> <li>大会開催に合わせた特産品の提供</li> </ul> </li> <li>&lt;スポーツライミングを活用した新たな取り組みによる産業振興例&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツライミンググッズの制作・販売等</li> <li>名産品や飲食店とスポーツライミングコラボメニューの開発</li> <li>商品等への「スポーツライミングのまち」や関連するロゴ等の記載</li> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」観光周遊ツアー等コンテンツの造成</li> <li>ローカルスタートアップ支援制度等を活用した地域密着型事業の支援</li> <li>ふるさと納税返礼品の開発</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>次年度以降 取り組む内容</b></p>	<p>&lt;人材連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商工会等、地域事業者とのリレーションを有するステークホルダーの巻き込み</li> <li>市内事業者での就業に関心があるスポーツ関連人材の確保</li> </ul> <p>&lt;新規事業開発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業開発意向の醸成</li> <li>助成・支援内容の検討</li> </ul>	<p><b>収益・コスト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収益： 新規事業に関連する売り上げ</li> <li>コスト： 支援金、プロモーション費用</li> </ul>



# 市民とスポーツライミングの接点増加を目的に、市内イベントや市民の生活エリアにおけるブランディングによって、「スポーツライミングのまち」としての認知度向上に努めます

## アクション【5】市内に向けたプロモーション

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>龍ケ崎市におけるスポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に掲載可能なコンテンツを作成（ロゴ・グッズ・オブジェクト等）</li> </ul>	<p><b>施策イメージ</b></p>	
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内におけるスポーツライミングの取り組みへの認知度向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内のイベントや各発信媒体で活用可能な、龍ケ崎市におけるスポーツライミングへの取り組みや事業内容が認識できるコンテンツを作成する             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市職員名刺や特産品パッケージ等に掲載可能な ロゴデザインの作成</li> <li>➢ パナーのぼりの作成</li> <li>➢ マスコットキャラクターの活用</li> </ul> </li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; width: 100px; height: 100px; background-color: #ccc; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>イメージロゴ</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; width: 100px; height: 100px; background-color: #ccc; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>イメージロゴ</p> </div> </div>
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課・市プロモーション担当 コンテンツ開発及びブランディングに関する全体方針検討</li> <li>コンテンツ制作事業者 コンテンツのデザイン、制作</li> <li>商工会・観光物産協会・青年会議所 コンテンツの作成及び市内展開の協力</li> <li>官民集客施設（図書館・公民館・観光物産センター等） 制作物の設置協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内の媒体を活用した「スポーツライミングのまち龍ケ崎」の露出を増加させる             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市内の拠点や事業者と連携し、ポスターや、音声・映像等を活用した「スポーツライミングのまち龍ケ崎」のPR</li> <li>➢ 駅や市役所等人目のつくところにスポーツライミングを連想するアートやオブジェの設置</li> <li>➢ 公共機関や民間の広報媒体による記事発信・情報発信</li> <li>➢ 民間事業者による「スポーツライミングのまち龍ケ崎」コンテンツの活用促進</li> </ul> </li> </ul>	
<p><b>次年度以降取り組む内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想に基づいたプロモーション方針(費用対効果・実現性を踏まえた優先順位付け等)の策定</li> <li>市内ニーズや活用方法を踏まえた、必要性の高いコンテンツの検討</li> <li>各種コンテンツ制作者の候補選定（龍ケ崎市に縁のある人物・組織が望ましい）</li> <li>制作コンテンツの掲載・配架場所検討及び配架に係る協力依頼</li> </ul>		
		<p><b>収益・コスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト：デザイン費、制作費</li> </ul>

# 市外に向けて「スポーツライミングのまち」としての認知度向上に向けたコンテンツを制作し、市内の魅力とともに発信を行います

## アクション【6】市外に向けたプロモーション

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち」及び龍ヶ崎市の魅力を市外へPRするためのコンテンツ制作・発信</li> </ul>	<p>施策イメージ</p>	
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち」としての市外からの認知拡大</li> <li>スポーツライミングをきっかけとした龍ヶ崎市の魅力発信</li> </ul>	<p>■ 若者世代に訴求するプロモーション案①～⑤を参考に実施内容を検討する。 &lt;プロモーション案&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① トップ選手らによる、市やクライミングのプロモーションビデオの作成・発信</li> <li>② 龍ヶ崎市スポーツライミング基本構想の内容をPR媒体等で発信</li> <li>③ SNSによる「スポーツライミングのまち」コンテンツの発信</li> <li>④ 他スポーツ（鹿島アントラーズ等）とコラボした発信</li> <li>⑤ 近隣都市圏の交通機関や市内産業や観光地からの魅力コンテンツの造成・発信</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1060 716 1346 985" style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>PV</p>  <p>市内外の若者が自発的に 拡散したくなるPRコンテンツ 制作</p> </div> <div data-bbox="1363 716 1649 985" style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>SNS</p> <p>イメージロゴ</p> <p>各種SNS媒体で情報発信 (トップ選手にも協力)</p> </div> <div data-bbox="1665 716 1951 985" style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>リアル会場</p>  <p>龍ヶ崎市内外のステーク ホルダーとコラボしたPR</p> </div> </div>	
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課・市プロモーション担当事業所管</li> <li>商工会・観光物産協会・青年会議所 PRコンテンツの作成及び市外PRに適した手法の検討、調整</li> <li>コンテンツ制作事業者 PRコンテンツのデザイン、制作、展開</li> <li>市内事業者・スポーツライミング団体 PRコンテンツの制作協力</li> </ul>	<p>収益・コスト    コスト：プロモーションコンテンツ制作・発信費用</p>	
<p><b>次年度以降取り組む内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想に基づいたプロモーション方針の策定</li> <li>市外ニーズや活用方法を踏まえた、必要性の高いPRコンテンツの検討</li> <li>各種PRコンテンツの制作者／発信者の選定</li> <li>制作コンテンツの発信方法の検討及び発信に係る協力依頼</li> </ul>		

# 市内トップ選手を応援する仕組みを作り、アスリートへの支援を行うことで、アスリートの本事業への協力意向の醸成と、活躍支援の好循環を図ります

## アクション【7】アスリート支援

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップ選手や次世代クライマーを対象としたや資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携意向を創出</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>施策イメージ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内のトップ選手や次世代アスリートの活動を、市民・市内事業者・市外事業者が応援できる仕組みを作り、アスリートの活躍や感動を市内に循環させる             <ul style="list-style-type: none"> <li>- トップ選手への活動資金支援(海外大会出場経費等)</li> <li>- トップ選手のプロモーション支援(市内広報やイベント等での連携)</li> </ul> </li> <li>■ 市内のトップ選手による市民との接点創出を目的とした連携を図る             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 壁の監修や体験会の開催、イベントへの登壇等</li> </ul> </li> <li>■ 市外のクライミングアスリートが市内に移住する支援を行う             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 空き家提供・移住補助金・雇用の確保等</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;アスリート支援スキーム(案)&gt;</p>
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップ選手の郷土愛の醸成や市外からの移住の促進及びステークホルダーの本事業への連携・協力意向の醸成を図る</li> </ul>	
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進課 本アクションに関する全体方針検討、助成条件の検討</li> <li>・商工会・商工観光課 応援可能な事業者の洗い出し、お声がけのご協力</li> <li>・スポーツクライミング団体 選手又はスポーツ関連人材へのアプローチ</li> <li>・民間事業者 就業等援助、企業版ふるさと納税、寄附等の実施</li> </ul>	<p><b>収益・コスト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益：ふるさと納税・協賛金等</li> <li>・コスト：支援助成金</li> </ul>
<p><b>次年度以降取り組む内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップスポーツクライミングアスリートのニーズ調査</li> <li>・民間事業者の巻き込み</li> <li>・スキーム構築に係る体制・財源の確保</li> <li>・移住に係る支援メニューの整理</li> </ul>	

# 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、スポーツライミングに親しみがもてて、選手の育成に資する拠点の整備に向けた誘致や支援策及び実現方策の検討を行います

## アクション【8】スポーツライミング環境整備

<b>施策概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境の整備及び実現に向けた検討</li> </ul>	<b>施策イメージ</b>	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツライミングの普及やトップ選手の輩出に資する拠点の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民がスポーツライミングに親しみを持てるような既存施設の活用促進及び市内拠点の整備に向けた検討を行う             <ul style="list-style-type: none"> <li>-公園の遊具としての設置</li> <li>-学校内の肋木としての設置 等</li> </ul> </li> <li>■ スポーツライミングの普及及び選手育成の拠点に資する施設の整備に向けた検討・支援を行う             <ul style="list-style-type: none"> <li>-一定の壁の高さを有する中上級者向けの屋内クライミング施設</li> <li>-商業施設と連携したボルダリング施設 等</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>&lt; 求められる環境 &gt;</p> <p>スポーツライミングに親しむ環境</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>&lt; 取組の方向性 &gt;</p> <p>たつのごアリーナ等が存在も、遊具や学校への配置等によるさらなる環境の拡大が必要</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>スポーツライミングの練習ができる環境</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>大型のウォールを有する施設の設置に向けた誘致や助言・助成等の支援が必要</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>スポーツライミングの大規模大会ができる環境</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中長期的な設置に向けた機運の醸成及び、誘致や助言設計・助成等の支援が必要</p> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">現状施設なし</p>	
<b>ステークホルダーと役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課 拠点施設の検討、整備手法、補助制度の調査、庁内調整</li> <li>道路公園課 公園等への遊具設置に向けた協議、検討</li> <li>財政課 財源確保策の検討</li> <li>民間事業者 施設設置に向けたビジネスモデル検討、資金調達</li> </ul>	<b>収益・コスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益：施設利用料</li> <li>・コスト：施設建設費、維持管理運営費</li> </ul>	
<b>次年度以降取り組む内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規拠点整備に向けた検討・調整(公園や学校への設置)</li> <li>施設整備に係るコンセプトの設計・要件の整理及び企業との調整</li> </ul>		

# 国の制度である地域おこし協力隊等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します

## アクション【9】人材確保

<p><b>施策概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保</li> </ul>	<p><b>施策イメージ</b></p>	
<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の推進に係る人材を確保する</li> </ul>	<p>■ 持続可能な「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の推進に必要な人材を地域おこし協力隊等の制度を活用して確保する</p> <p>&lt; 求められる人材イメージ &gt;          スポーツライミングのまちを推進する上で以下要素を持つ人材が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <b>スポーツライミングの指導</b>              スポーツライミングの体験～練習までを指導し、選手の育成ができる人材</li> <li>② <b>スポーツライミング大会誘致・開催推進</b>              大会の誘致や開催にあたって必要な取り組みを推進できる人材</li> <li>③ <b>魅力発信</b>              スポーツライミングの魅力や市内の魅力を磨き・発信が可能な人材</li> <li>④ <b>市内ステークホルダーとの調整・取りまとめ</b>              本事業推進にあたって関連するステークホルダーとの調整や連携を図る人材</li> <li>⑤ <b>トップクライマー</b>              選手として本事業推進に積極的に協力しつつ、国内外の大会に出場する人材</li> </ol>	
<p><b>ステークホルダーと役割</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課              必要人材要件の整理、人材確保に向けた関係課との調整</li> <li>スポーツライミング関連団体              地域おこし協力隊員の確保に向けた協力</li> </ul>	<p><b>収益・コスト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収益：特別交付税による財政措置</li> <li>コスト：人材受け入れにかかる経費</li> </ul>	
<p><b>次年度以降取り組む内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係課と受け入れに係る調整実施</li> <li>募集要件を整理し、JMCSAをはじめとする関係団体と調整を行い、ターゲット人材を選定</li> <li>受け入れ後の業務及び連携するステークホルダーの抽出・合意形成</li> </ul>		

# 国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎市」としての事業推進に係る資金の確保を目指します

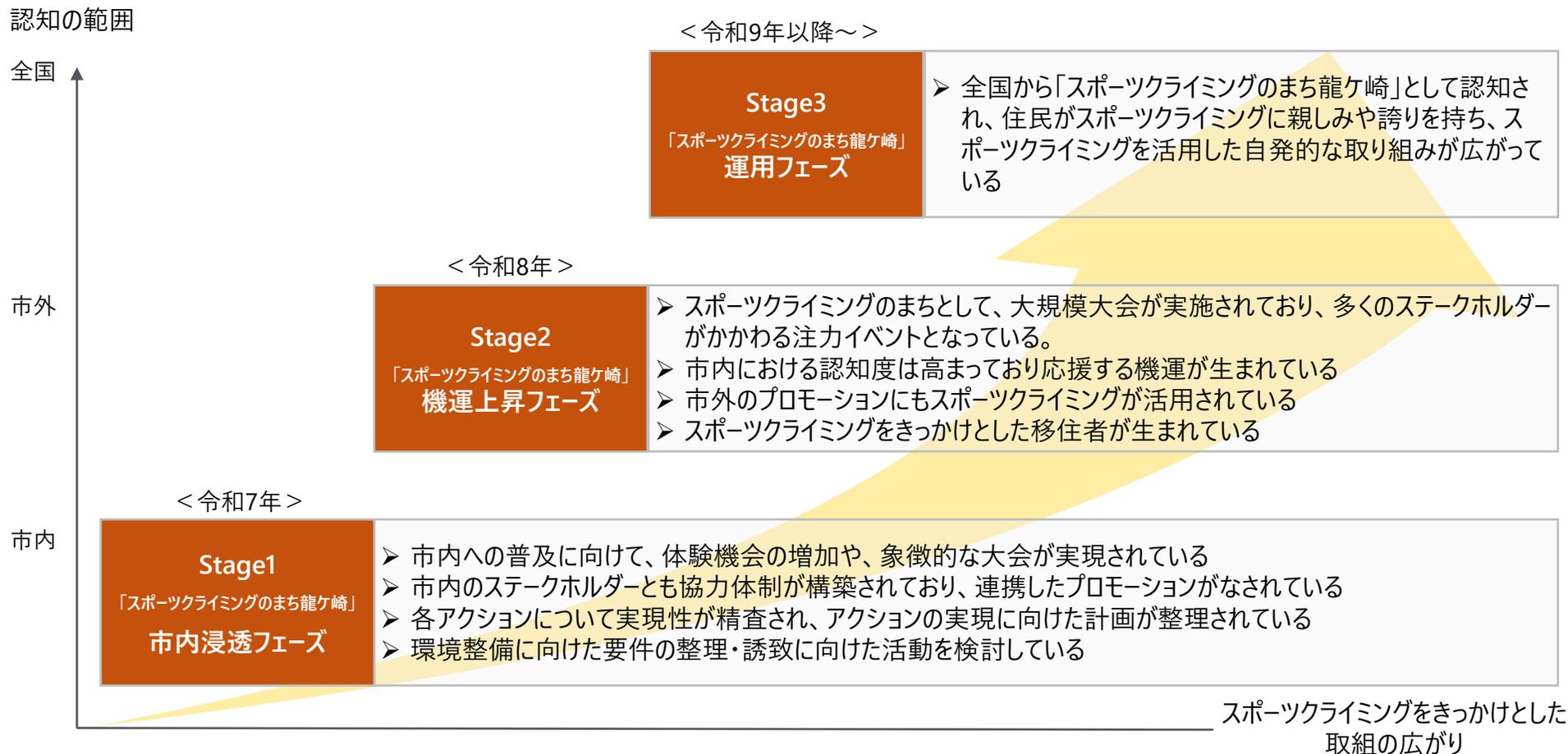
## アクション【10】資金調達

<b>施策概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の施策実行に伴う財源確保に向けた仕組みや制度を設計する</li> </ul>	<b>施策イメージ</b>	
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の推進に係る資金を調達する</li> </ul>	<p>■ 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎市」としての事業推進に係る資金を確保する</p> <p>&lt;事業全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業版ふるさと納税・ふるさと納税の活用による財源獲得</li> <li>事業者・個人からの寄付</li> <li>ガバメントクラウドファンディング</li> </ul> <p>&lt;大会誘致&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模大会（ワールドカップ・ジャパンカップ等） 企業協賛金・助成金 等 参加料・観戦入場チケット 等</li> <li>中・小規模大会（例：ユース大会・市民大会等） 協賛金や、寄付金、参加料 等</li> </ul> <p>&lt;施設整備・人材確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点整備交付金や、スポーツ振興くじ助成</li> <li>企業版ふるさと納税の活用</li> <li>PFI等の活用検討</li> <li>地域おこし協力隊の活用</li> </ul> 	
<b>ステークホルダーと役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進課 民間企業の誘致および調整、資金の確保、庁内調整</li> <li>市所管 補助金や助成金の申請、企業版ふるさと納税等の受け入れ</li> <li>民間事業者 企業版ふるさと納税、寄付等の実施</li> </ul>	<b>収益・コスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>収益：資金調達による歳入</li> <li>コスト：各アクションの実行に伴う事業費</li> </ul>	
<b>次年度以降取り組む内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進に係る資金調達(補助金・助成金等)の整理・調整・申請</li> </ul>		

## 6.ロードマップ

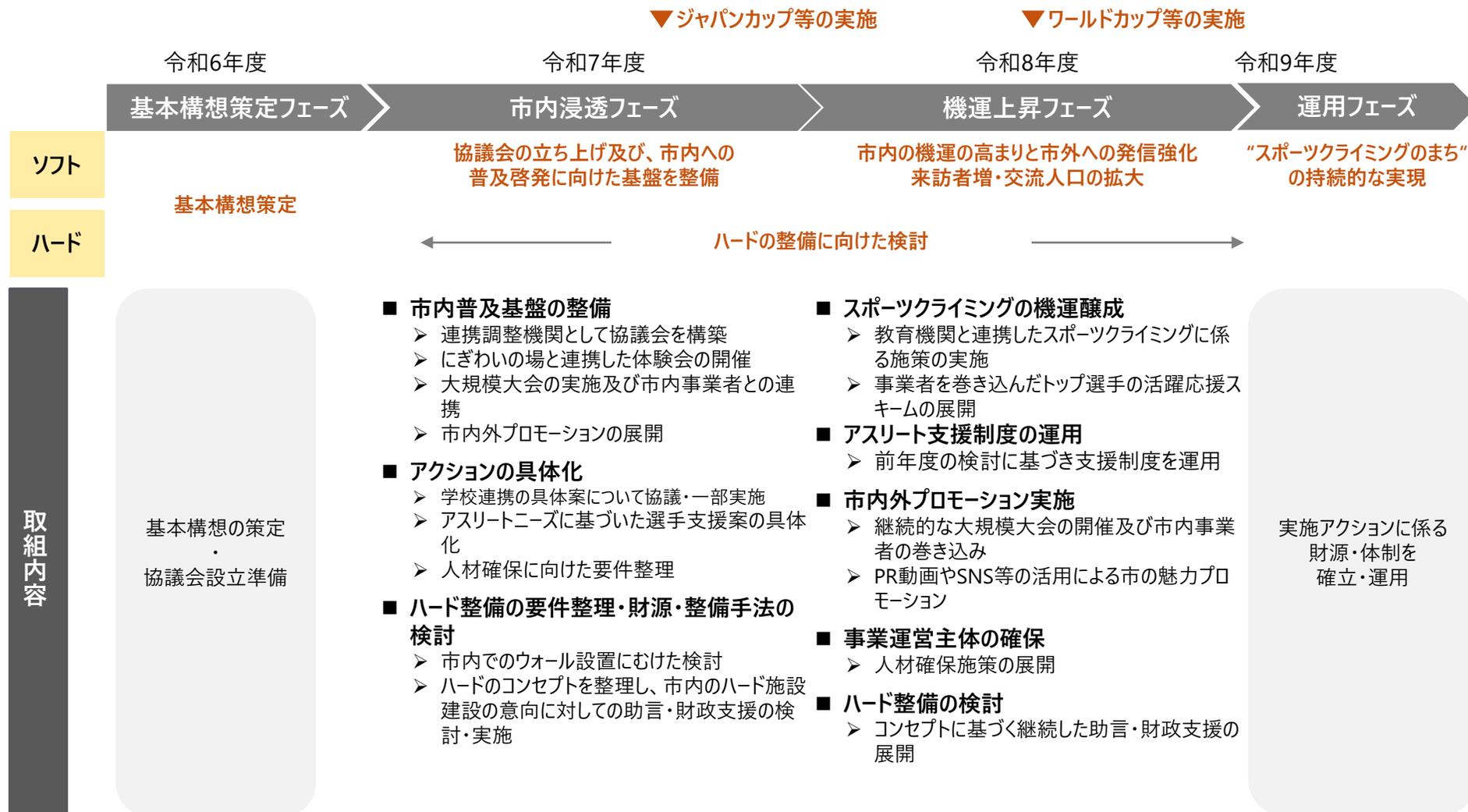
# スポーツライミングに親しむ仕掛けや環境が整い、トップ選手を市民や事業者が応援する機運が生まだされ全国から「スポーツライミングのまち龍ケ崎」が認知される姿を目指します

## 「スポーツライミングのまち龍ケ崎」実現に向けた今後の展望



# 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向け、普及啓発に向けた基盤を整理しつつ、市内外からの本事業への参画者の拡大を図りながら、事業を推進します。

## 本事業の今後の計画

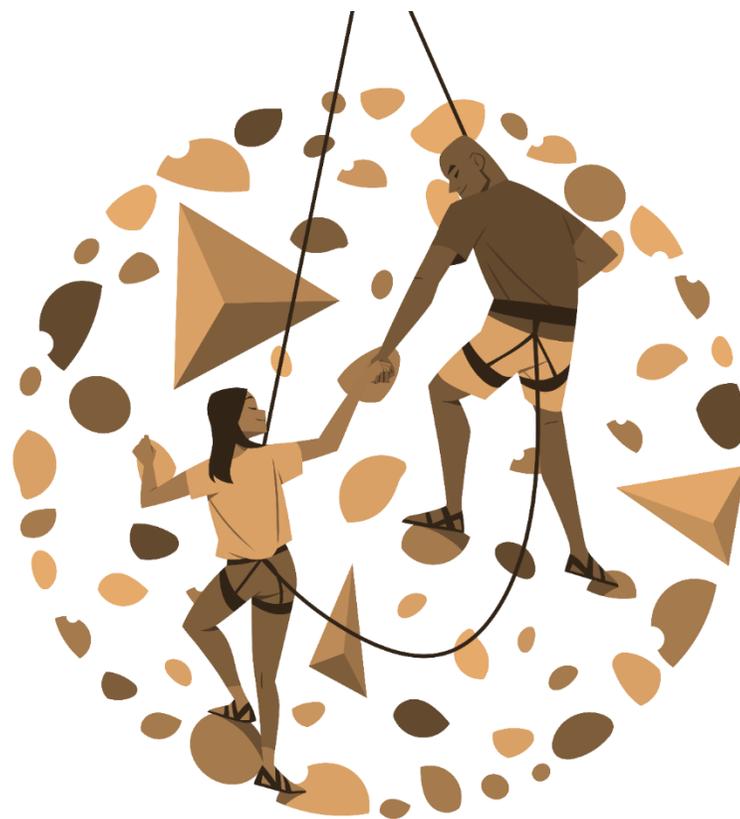


# 參考資料

# 各事業において取り組みを開始した際には、参考指標をベースに適宜状況を把握し、取組の進捗を確認することが重要です

## 各事業における参考指標例

テーマ	アクション	概要	参考指標
①教育・学習	1 学校連携	教育機関におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出 (授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートによる体験者の割合</li> <li>スポーツライミングの実施経験者数</li> <li>スポーツライミング体験・学習の実施数</li> <li>小中高生がスポーツライミング体験が可能な拠点数</li> </ul>
	2 体験会開催	市内のイベントやにぎわいの場におけるスポーツライミング体験会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートによる体験者の割合</li> <li>体験会の開催数</li> <li>体験会への参加者数</li> </ul>
②にぎわい創出	3 大会の誘致・開催	大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出場できる大会等を誘致・開催や、無関心層の取り込みができる工夫を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント参加者数</li> <li>イベント観戦者数</li> </ul>
③産業振興	4 地域の名物等と連携	スポーツライミングを活用し、市内事業者との新規事業や取り組みを組成	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携事業者数</li> <li>新規事業数</li> </ul>
④プロモーション	5 市内に向けたPR	龍ヶ崎市におけるスポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に活用可能なコンテンツを作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートによる認知向上</li> </ul>
	6 市外に向けたPR	「スポーツライミングのまち」及び龍ヶ崎市の魅力を市外へPRするためのコンテンツ製作・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーション媒体の露出量</li> </ul>
⑤競技支援	7 アスリート支援	トップ選手や次世代クライマーを対象とした資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携意向を創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内選手のジャパンカップ等決勝進出者数</li> <li>トップ選手の参加イベント数</li> <li>移住者数</li> </ul>
⑥環境整備	8 スポーツライミング環境整備	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境の整備及び実現に向けた検討・誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツライミングの実施者数</li> <li>スポーツライミングの施設数</li> <li>スポーツライミングの施設利用者数</li> </ul>
	9 人材確保	国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住者数</li> </ul>
	10 資金調達	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の施策実行に伴う財源確保に向けた仕組みや制度を設計する	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間資金獲得額（補助金獲得額・寄付額等）</li> <li>活動収益額</li> </ul>



「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」に関するアンケート結果（12/12版）

龍ヶ崎市健康スポーツ部スポーツ推進課

# 本調査は「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の基本構想策定の参考とするための意見収集を目的に、アンケートを実施

## 調査概要

### 調査期間

2024年12月4日（水）-12月22日（日）

### 調査目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の基本構想策定の参考とするため  
龍ヶ崎市民の意見を収集

### 調査対象者

龍ヶ崎市内在住の市民（一部市外在住者からの回答あり）

### 総回答者数

（のべ）1023人 ※2024年12月12日時点

### 調査媒体別集計結果

#### ■ 龍ヶ崎市アンケート

- 期間：2024年12月4日（水）-22日（日）
- 回答者数：723名 ※2024年12月12日時点
  - 男性：342名、女性：355名、回答しない：26名
  - 10歳未満：4名、10代：12名、20代：23名、30代：80名、40代：158名、50代：140名、60代：165名、70代以上：124名、回答しない：17名

#### ■ 楽天インサイト

- 期間：2024年12月4日（水）-11日（水）
- 回答者数：300名
  - 男性：95名、女性：205名
  - 10代：3名、20代：4名、30代：24名、40代：64名、50代：86名、60代：71名、70代以上：48名

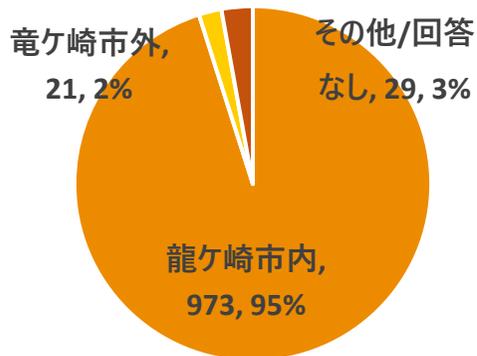
# 回答者は95%が龍ヶ崎市在住であり、年齢は40代以降が大半を占め、男女比は若干女性が多い傾向であった

## 回答者属性（性別、年齢、居住地）

n=1023 ※12月12日時点

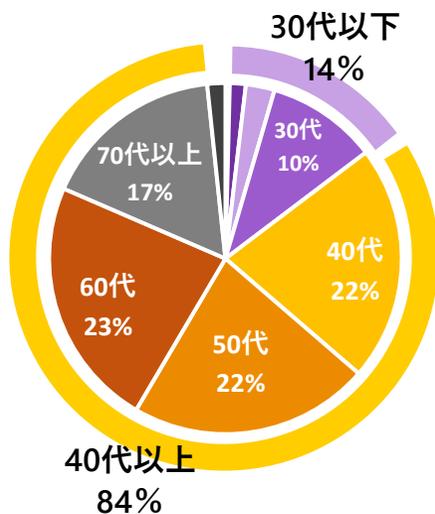
### 総数

回答者総数は1023件、その内95%の973人は龍ヶ崎市在住



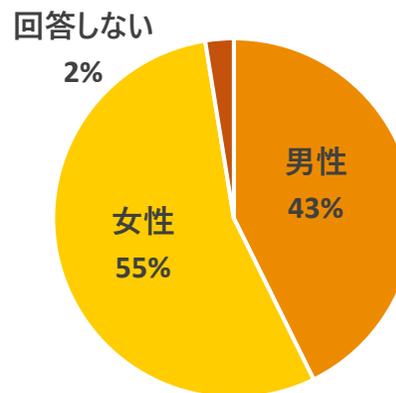
### 年齢

30代以下の回答者は14%、40代以降の回答者が84%を占める（未回答2%）



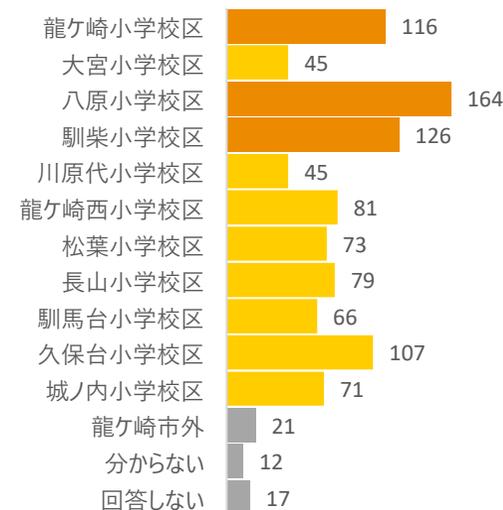
### 性別

男性43%、女性55%と女性の回答者がやや多い



### 居住地

居住地は八原小学校区、馴柴小学校区、龍ヶ崎小学校区が多い

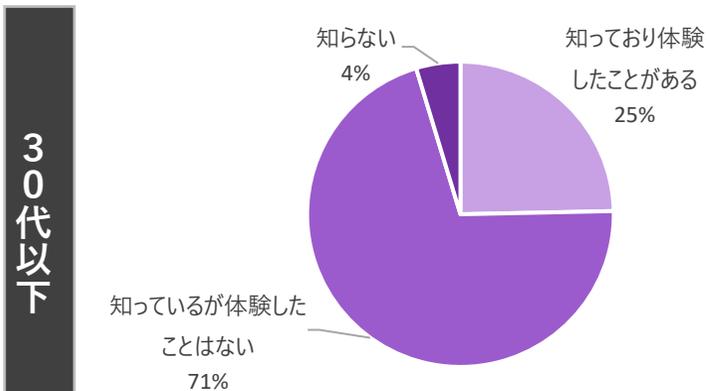
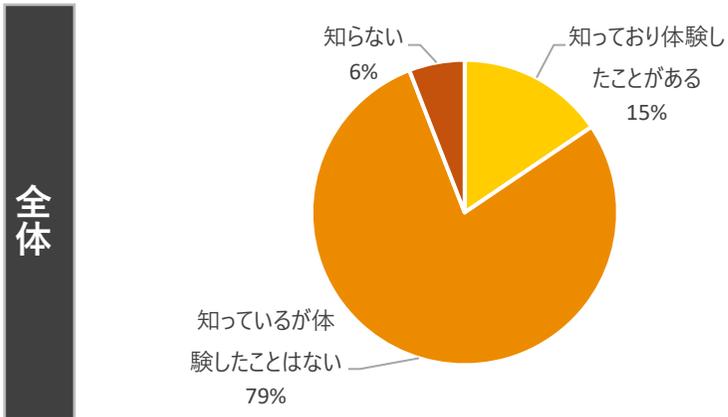


# スポーツライミングの認知度は非常に高いが体験をしたことがある人は1-2割に留まっている。 若い世代ほど体験に対する興味・関心は高い

n=1023 (30代以下=150)

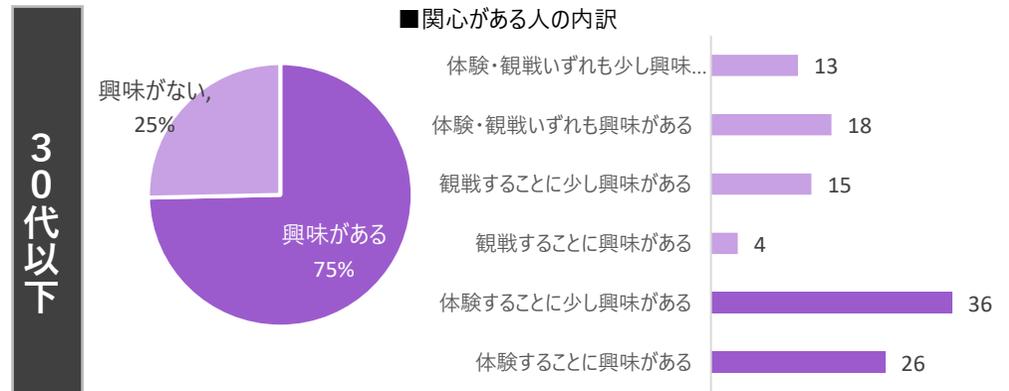
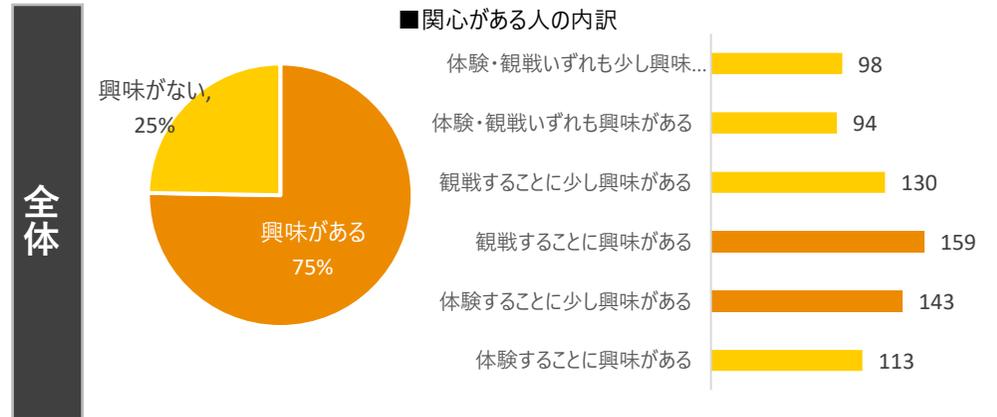
## Q1.スポーツライミングを知っていますか？体験は？

スポーツライミングを「体験したことがない」を回答した人が7割以上だが、30代以下では体験したことがある割合が増加



## Q2.スポーツライミングに興味・関心はありますか？

75%がスポーツライミングの体験及び観戦のどちらかに興味があり、30代以下ではより体験に興味・関心が高い

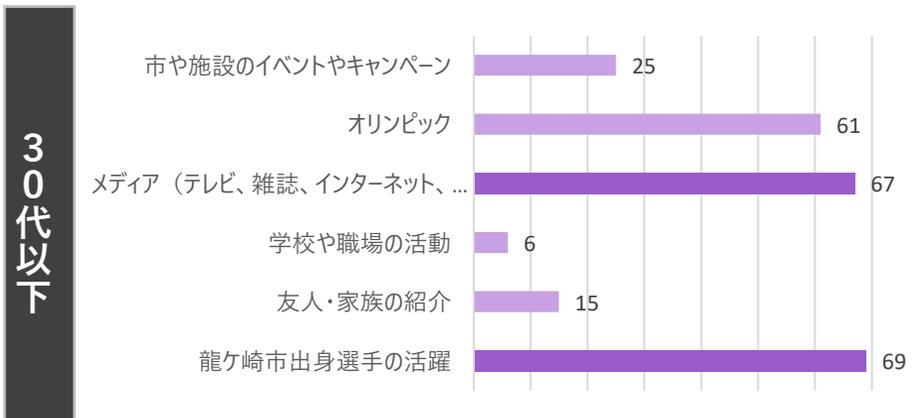
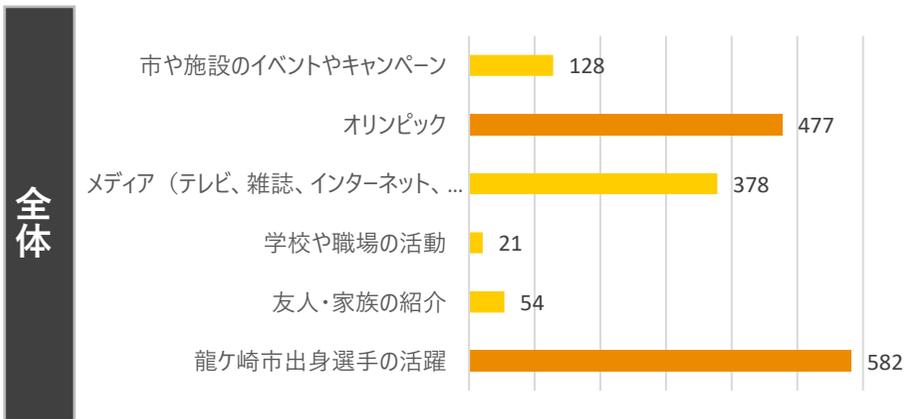


# スポーツライミングを知ったきっかけとして、龍ヶ崎市在住のトップアスリートとオリンピックの影響は大きい。また印象として楽しそうであったり親しみがある一方難しそうという声もある

n=1023 (30代以下=150)

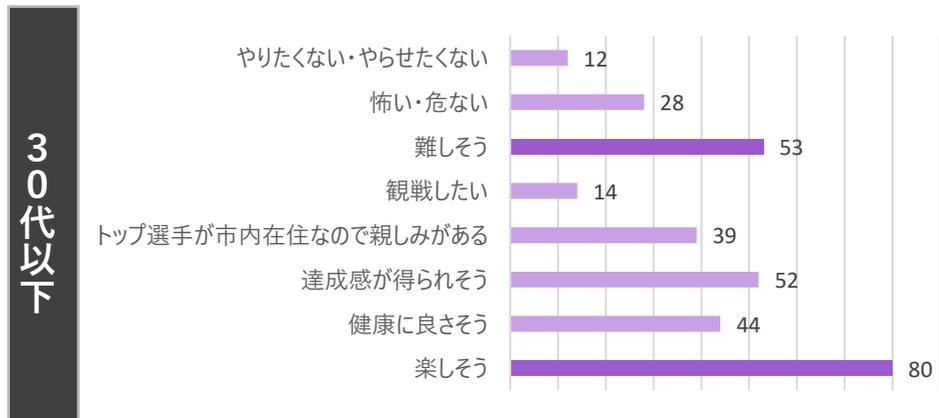
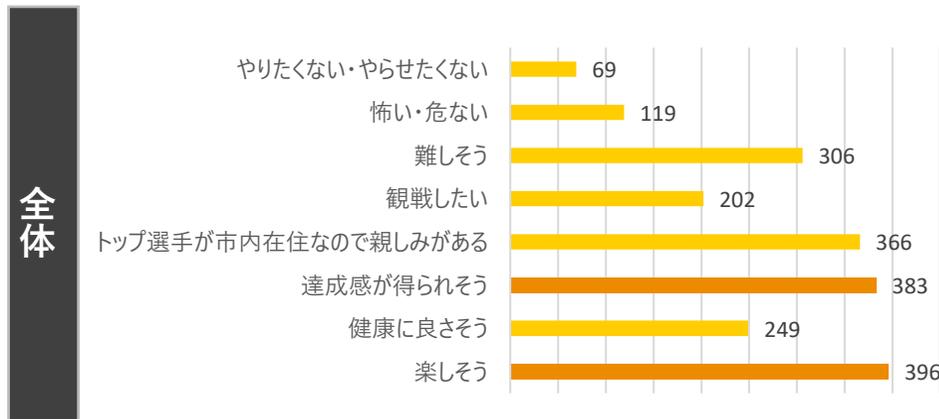
## Q3.スポーツライミングを知ったきっかけは？

スポーツライミングを知ったきっかけは全世代に渡り「龍ヶ崎市出身選手の活躍」と回答している人が多い



## Q4.スポーツライミングの印象は？

スポーツライミングの印象は「楽しそう」が最も高い。  
全体では「トップ選手が在住なため親しみがある」が多く、  
30代以下は「難しそう」が多い

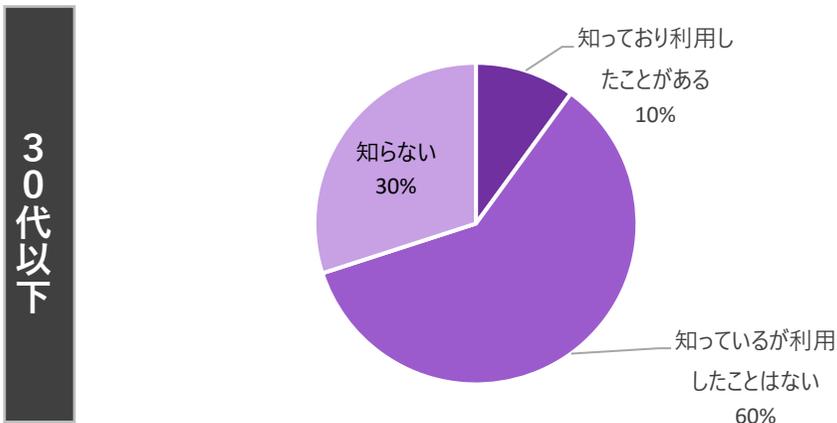
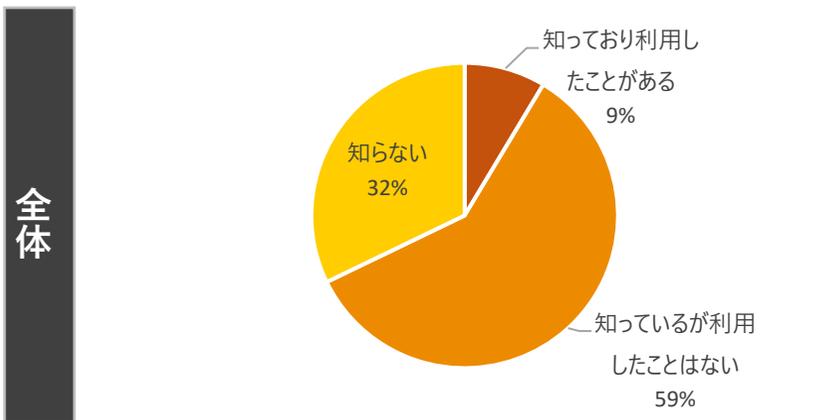


たつのごアリーナのボルダリング施設の利用者はまだ少なく、施設があることを知らない人も一定数存在。体験の頻度は30代以下になると年に一回以上行っている人が半数に迫る

n=1023 (30代以下=150)

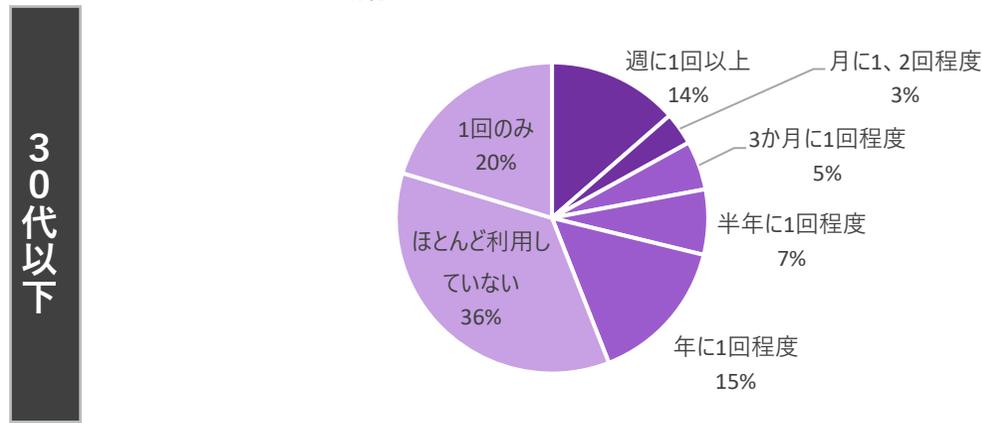
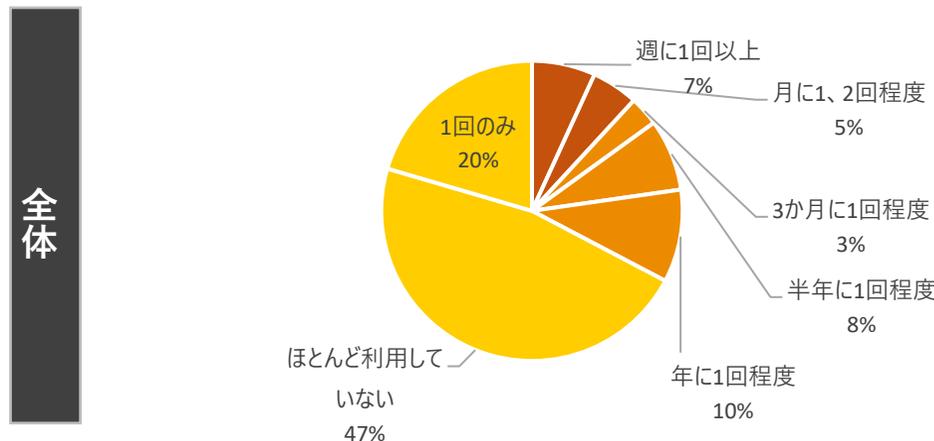
Q5. たつのごアリーナにあるボルダリング施設を知っていますか？

施設を「利用したことがある」は約1割に留まっている。また「知らない」と回答した人もも3割いる



Q6. 体験の頻度はどのくらいですか？

全体的に月に1回以上体験している人は12%と低い。30代以下になると体験頻度は上がり、年に1回以上体験をしている人が半数に迫る

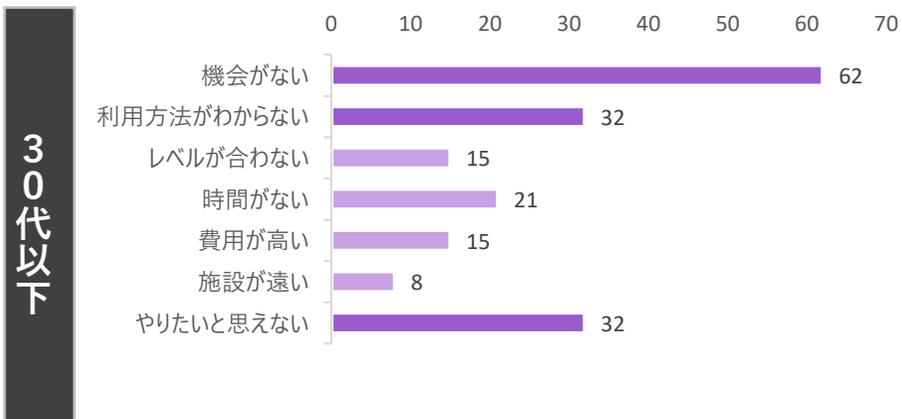
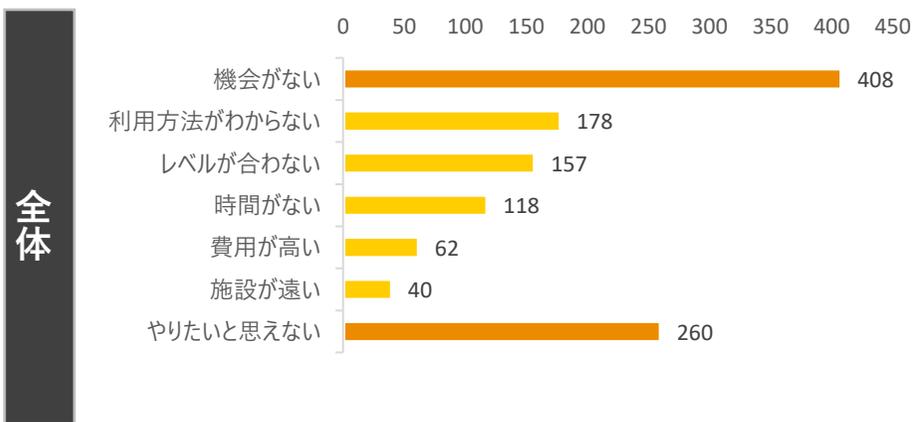


# 体験したことがない人は「機会がない」「やりたいと思えない」と始める上でハードルがあることがうかがえる。また、スポーツクライミングのまちづくりに関わってみたい人は過半数を超える

n=1023 (30代以下=150)

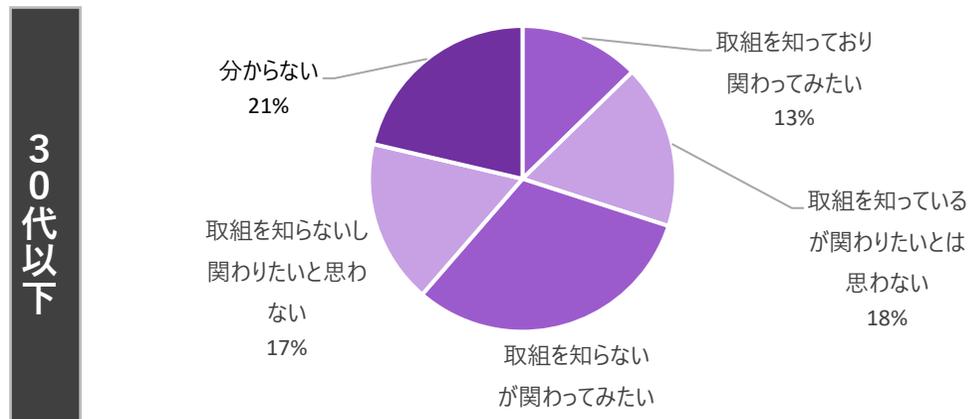
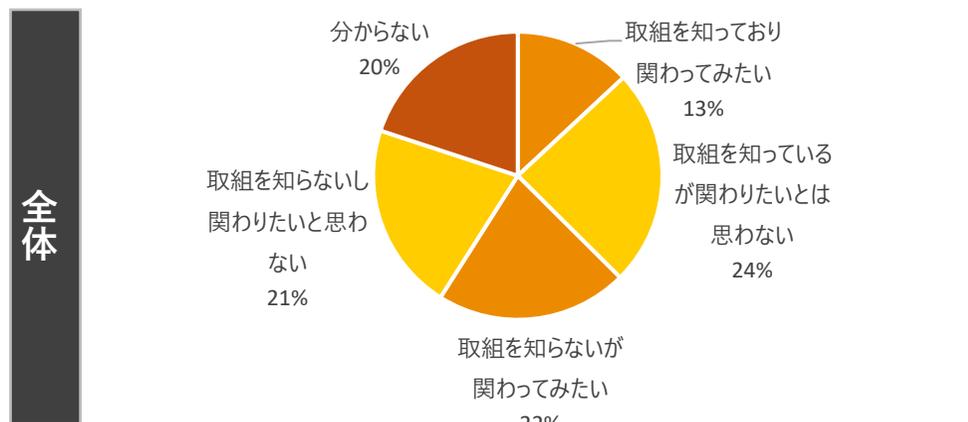
Q7.スポーツクライミングを知っているが体験したことがない方に伺います。その理由は？

全体的にスポーツクライミングをする「機会がない」「やりたいと思えない」と回答している人が多い



Q8.「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の取り組みを知っていますか？また、関わってみたいですか？

全体で「取り組みを知っている」と回答した人は37%。今後「関わってみたい」と回答している人は全体で35%、30代以下で44%となっている

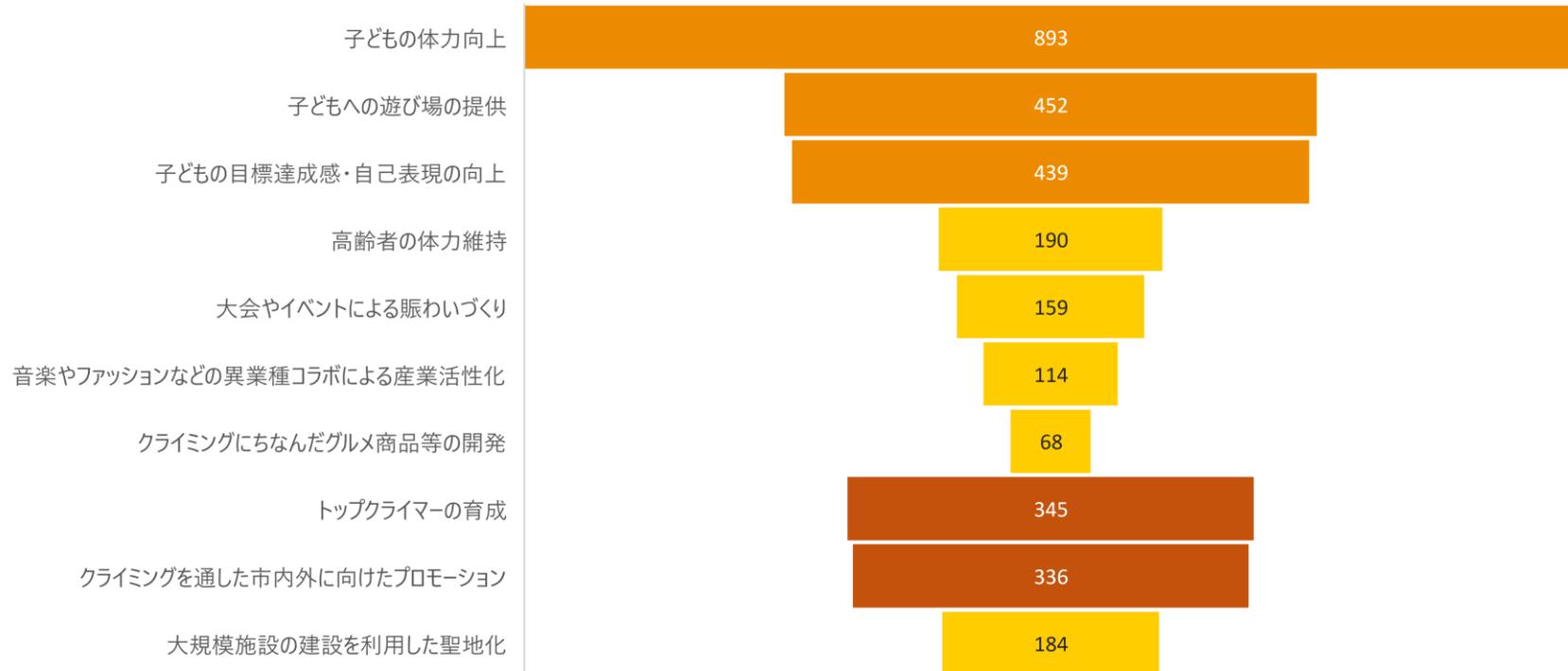


# スポーツクライミングの活用方法として子どもに関する意見が多い一方、トップクライマーと連携した龍ヶ崎市のブランディングに対する期待も大きい

n=1023

## Q9.スポーツクライミングをどのような分野に活用できると思いますか？

スポーツクライミングの活用方針としては「子どもの体力向上」「遊び場の提供」「目標達成・自己実現の向上」など子どもに関するご意見が多い一方、「トップクライマーの育成」「クライミングを通じた市内外に向けたプロモーション」等、トップクライマーと連携した龍ヶ崎市のブランディングに対する期待も大きい



# 賛成意見が多く、オリンピックと連携し大会やイベント開催、龍ヶ崎市の独自性をPR、子どもたちに夢や目標を与える等、継続することで将来的なまちの活性化が期待されている

## 賛成意見（1/2）

n=609

### 1. オリンピック選手と連携したまちおこし

- 地元出身のオリンピック選手や有名選手を活用してまちおこしを行うことに賛成する意見が多く、野口啓代選手や檜崎智亜選手の存在を活かし、イベントや指導、講演会などを通じて子供たちに夢や目標を与えることが期待されている

<実際のご意見例>

- 「オリンピック選手が出たのだから、聖地として、大々的に宣伝すべきだ」
- 「せっかくオリンピックで活躍した選手がいるので交えて町おこしの一環としてスポーツライミングをひろめてほしい」

---

### 2. 健康増進や教育現場への導入

- スポーツライミングを通じて、地域住民の健康増進や子どもの育成に役立てて欲しい。特に、学校の体育の授業や部活動としてライミングを導入することで、子供たちの体力向上や新たなスポーツの魅力を伝えることが期待されている

<実際のご意見例>

- 「市内に優れた指導者がいるので、子供達に挑戦してもらえると後継者も増え町の活性化に繋がると思う。」
- 「子どもたちに体験できる機会をたくさん行う。ライミング教室を行う。」
- 「小学校や中学校において、体育の授業に取り入れれば、ご当地スポーツとして評判になると思う。」

---

### 3. 独自の取り組みとして龍ヶ崎市の広報とPR

- 龍ヶ崎市の独自性のある取り組みとしてアピールして欲しい。地域の目玉としての位置づけや、スポーツライミングの聖地化など画期的な施策に期待されている。交通の便やインフラ整備と合わせて進めることで、地域全体の魅力向上を図ってほしいという意見もある

<実際のご意見例>

- 「龍ヶ崎市を特徴づけるのに画期的な施策だと思う」
- 「龍ヶ崎を聖地的に進めてみるのも良いかもしれない。ただ交通の便が車に頼るしかない地域なので渋滞が発生するのは困る。」

賛成意見が多く、オリンピックと連携し大会やイベント開催、龍ヶ崎市の独自性をPR、子どもたちに夢や目標を与える等、継続することで将来的なまちの活性化が期待されている

## 賛成意見 (2/2)

n=609

### 4. 大会やイベント、体験会の開催

- クライミングに関連する大会やイベント、体験会を開催してほしい。特に地域住民や観光客が気軽に参加できるイベントを通じて、クライミングの魅力を広めたり、近隣地域との連携や大会の誘致も重要な要素とされている

<実際のご意見例>

- 「クライミングに接するイベントなどを行いクライミングについて知る機会を設ける」
- 「誰でも気軽に試せるイベントを企画し、子供から大人まで無理なくクライミングに参加してもらう」

---

### 5. 施設の充実

- クライミング施設の増設や充実が求められている。初心者から上級者まで幅広く対応できる施設の整備や、大規模な練習施設の設置が期待されている。アクセスの向上や安全対策も重要な要素との意見もある

<実際のご意見例>

- 「大規模な練習施設等の設置などによりクライミングタウンを形成し、合宿などでもできる宿泊施設も設置して行き、全国からの利用者呼び込む。」
- 「様々な場所に気軽に体験できる設備を作ると需要がありそう」

---

### 6. 長期的な視点と継続的な取り組み

- スポーツクライミングのまちづくりを一時的な盛り上がり終わらせず、恒久的に続けられる取り組みとして欲しいとの意見。継続的な大会の開催や、競技人口の増加を目指す取り組みを増やしてほしいとの要望がある

<実際のご意見>

- 「一時的な盛り上がりでやっても意味がない。恒久的に続けられるような取り組みが必要かと。トップクライマーが参加する大会の誘致と継続的な開催のほか、市内高校に部を作るなど、競技人口を増やす取組みや競技自体に身近さがないと、子どもへの機会提供程度では将来的には消滅してしまうものと思います。全国的に人口は確実に減少しています。」

# スポーツライミングは競技人口が少なく、また高齢者や体力に自信のない人にはできない競技と認識されていることから、限定的な取り組みになってしまうことが懸念されている

## 反対意見

n=609

### 1. マイナー競技活用に対する不安

- スポーツライミングは特殊な分野であり、競技人口の少なさや難易度からも一般化が難しいのではという意見があった。競技人口増加に向けては、はじめる際に敷居が高いイメージがあるため、未経験者や初心者が参加しやすい体験教室の増設が求められている

<実際のご意見例>

- 「特殊な分野であり、一般化は難しいと思う。」
- 「スポーツライミングは敷居が高いイメージです。未経験の小学生でも出来そうな体験教室が増えるといいなと思います。」
- 「一部の人にしかメリットがないのでは？まずは知名度や競技人口の増加をさせたほうが」

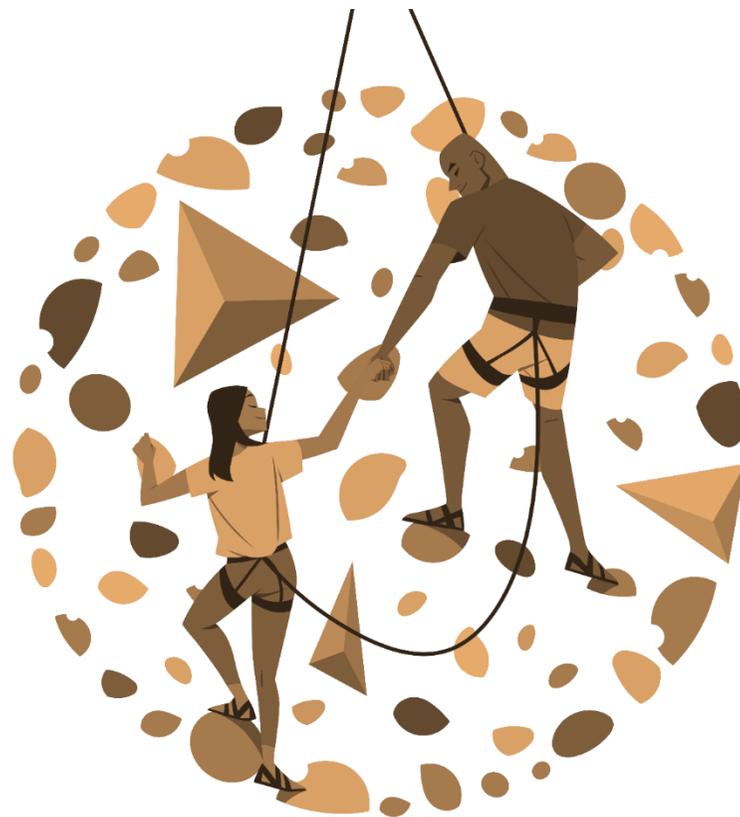
---

### 2. 高齢者や体力に自信がない人には難しい

- 高齢者や体力に自信がない人にはハードルが高いスポーツであるとする意見が見られた。全世代に対応するための工夫や、安全で参加しやすい環境作りが求められている

<実際のご意見例>

- 「まちづくりの資源として活用することについて異論はないが、高齢者にはハードルが高いスポーツだと思う。」
- 「年寄りには無理です。若い人のスポーツ」



有識者ヒアリング/ワークショップ実施結果

# アジェンダ

---

1.	選手ヒアリング	P.2
2.	市長ヒアリング	P.4
3.	ワークショップ実施結果	P.6

---

# 1.選手ヒアリング

# 経験のある子どもやユースに向けた定期的な練習環境整備や、アスリートの誘引のための移住や競技支援にニーズがあり、段階的な環境整備やコミュニティの機運醸成が有効です

## 有識者ヒアリングの要点（野口啓代選手）

### ■ 実施概要

- 実施日時 : 11月25日（月）17:00-18:00
- 対象者 : 野口啓代選手

### ■ 議論要旨

- 龍ヶ崎市の現状認識・今後のビジョン
  - ✓ 龍ヶ崎市内には、スポーツクライミングを既に1.2回に経験している子どもたちは多くいるが、継続しにくい。定期的な練習環境（ウォールの難易度・指導者・学校の体制）が必要となる
  - ✓ 市内の施設や企業からハード建設の相談が一定ある状況のため、3か年の中でハード整備の検討も推進できたらよい
  - ✓ 地元である龍ヶ崎市から、未来のスポーツ選手、オリンピック選手を輩出できるきっかけになったらよい
- スポーツクライミング施設の課題
  - ✓ 3種目対応の施設整備は難易度が高い。まずはボルダリング1種目からはじめて、将来的には3種目を目指すのが良い
  - ✓ 運営として、民間ほど上手くいっている公共施設の事例はない
  - ✓ 運営・管理は、他県から来訪することを見越して、市の職員や地域おこし協力隊等に頼らず、アルバイト等でもよい
- 子ども・ユース向けの環境整備
  - ✓ ハードありきの点が多いため、学校の連携では現状では、仮設しか対応できない
  - ✓ 体験会が重要だが、その次の受け皿や環境がなく。次の段階を目指すべき
  - ✓ キャリア教育等のこどもの意識醸成にも、継続して協力可能である
- アスリートのキャリア形成の課題と、支援のニーズ
  - ✓ 選手のデュアルキャリアは現段階ではニーズがないが、移住等の支援に関しては選手からの声もあり、ニーズは一定ある
  - ✓ 資金面では、家賃・遠征費用がある。特に、選手の海外遠征費の負担が大きい。住民票が龍ヶ崎市にあるなどの規定により、市からの金銭的支援があり、その代わりに市の名前を出すことなどは一案である
  - ✓ 日本代表クラスは、バイトを少しと、プロ活動がメインになるので、就職までは考えていない。日本代表になる難易度は高まり、就職は難しい。クライミング施設に就職し練習する選手はいるが、一般企業はいない

子どもやユース向けの継続的な練習環境の整備に加え、アスリートの移住・競技支援が必要  
ビジョンについては、クライミング的な表現が必要である

## 2.市長ヒアリング

# スポーツクライミングのまちづくりを推進する上でオリンピック・大学生・子どもが重要であり、それらを応援する教育機関や地域産業との連携やプロモーションが必要となります

## 市長ヒアリングの要点（萩原勇市長）

### ■ 実施概要

- 実施日時 : 11月28日（木） 11:00-12:00
- 対象者 : 萩原勇市長

### ■ 議論要旨

3カ年で目指す姿に言及

- 龍ヶ崎市の現状認識・今後のビジョン
  - ✓ 流通経済大学というスポーツに秀でた大学があり、これまで多くの選手を輩出している。さらに、トップ選手を輩出できれば非常に良い
  - ✓ 龍ヶ崎市出身やゆかりのある学生や選手の活躍があると市として盛り上がる。将来的には、龍ヶ崎市に戻り、還元してくれるとよい
  - ✓ 3年以内では大会は実施する必要がある。また、教育・学校と連携し、小中学校の児童生徒みんなに体験してもらいたい。
- 教育との提携
  - ✓ スポーツを専攻する大学生たちは、龍ヶ崎の強みであり、積極的にまちづくりに参画してもらいたい
  - ✓ 流通経済大学の各部活には部員が100~200人おり、これまでスポーツの体づくりの推進や、田植えや稲刈りなどの農業への手伝い等がある。ボランティアとして協力してもらっている。今後は、お祭りなどのイベントを活用して、大学や若者が中心として活躍してもらえるような取り組みにしていきたい
  - ✓ 小中学校生向けには、個人が小さな成功体験を積むことで自己肯定感を高め、自ら行動していくことの大切さを学ぶことにつながる体育教育等を行っていくことは良い
- 地域振興
  - 応援したい企業や個人が居ても、具体的なアクションに繋がらないケースが多い。企業規模等にかかわらず、それぞれの想いを反映できる多様な仕掛けづくりが必要である
  - どこも人材不足であるが、クライミングを通して人材連携したとしても若者が選ばない可能性もある
- プロモーション
  - ✓ 野口氏は全国的なメディア等の露出も既にあり、クライミングを発信する際に、龍ヶ崎の魅力も合わせて発信いただければ効果が高い
  - ✓ 駅前や市役所の懸垂幕はやっているがその効果は十分ではなく、3万5千人の登録者がいるLINEツールなどを活用したい
  - ✓ 「龍」という文字に地名に入っている点は、強みであり、活用していきたい（全国2位）
  - ✓ 市内・外、ひいては海外のひとたちが着たくなるようなデザイン性の高いジャージなどスポーツ関連アパレルを生み出していけると面白い

野口選手をはじめとするトップ選手のまちづくり連携の更なる強化に加え、3カ年でクライミングの魅力が地域の活性化及び人材の還流につながるよう、大会や体験機会の拡大を進めていく必要がある

### **3. ワークショップの実施結果**

# ワークショップを通して、関係者や有識者の意見を集約し初期仮設のブラッシュアップを行いました

## 目的と概要

目的	先行着手した調査・分析から初期仮説として導出した目指す姿と事業テーマを基に議論し、 <b>新たなアイデアを導出し、より具体化・精緻化を図る</b>
参加者	・ テーマに関連するステークホルダー、龍ヶ崎市関連課職員、事務局（ファシリテーション）
場所	附属棟1階 第1会議室（②はオンラインで開催）
日程	① 12月2日（月） 10:30-12:00（90分） ② 12月6日（金） 14:00-15:30（90分） オンライン
実施方法	テーマに関連するステークホルダーがテーマごとに分かれ施策内容を検討  <p>The diagram illustrates the implementation method for three themes. Each theme (テーマ①, ②, ③) is represented by a yellow box containing four circles. The first three circles are solid orange and labeled 'ステークホルダー' (Stakeholders), while the fourth is a hollow orange circle labeled '事務局' (Secretariat). This indicates that for each theme, three stakeholders and one secretariat member will discuss the strategy content.</p>
主な論点	・ スポーツライミング推進を通じて、どのような「まち」を目指すか？ ・ スポーツライミングが市内外の人にとってどのような「場」になるとよいか？ ・ 市内リソースを活用した目指す姿について意向と合致するか？ ・ 内部・外部分析から導出した事業テーマについて意向と合致するか？

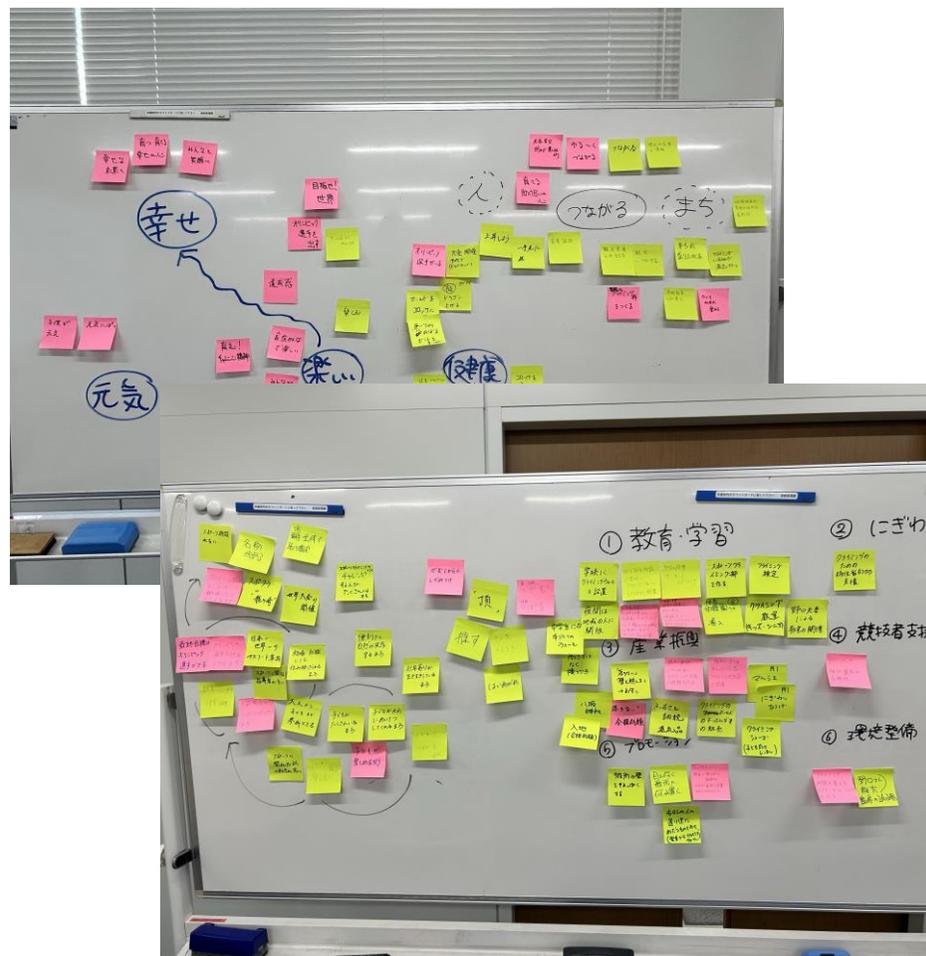
# 2日間で22名の方に参加いただき、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」のビジョンの検討と、 ビジョンの実現に向けたアクション案として約80個のアイデアを導出しました

## WSの様子

－ワークショップの様子－



－「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の取り組みアイデア－



# WSで出てきた約80個のアイデアです

## アイデア一覧

### ①教育・学習

#### 教育

- ・小中学校や大学にもスポーツクライミング部をつくる
- ・危険回避のため縦の動きではなく横の動きをさせる
- ・学校でクライミング授業が実施されている
- ・学校のウォールの利用に関するルール整備
- ・子どもたちが継続的にクライミングを行える環境（ウォール難易度、指導者、学校体制）

#### 体験

- ・こどもたちのモチベーションアップにクライミング検定
- ・保育園へクライミングを使った動きの導入
- ・小中学生による手作りのウォール制作
- ・クライミング体操（ラジオ体操のイメージ）の普及
- ・子どもたち、一般市民への体験会提供
- ・野口さん、檜崎さんによるボルダリング教室の開催
- ・体験無料券の配布
- ・いがっぺ市・にぎわい広場（月1）・マルシェ（月1）等市民の集まるイベントでクライミング大会・体験を設置
- ・5月の田植えの前に、壁を立てて「どろんこクライミング」をし、石鹸で洗うところまでをイベントを実施

### ②にぎわい創出

#### 大会

- ・競技大会・メガイイベントの誘致
- ・誰もが楽しめるレギュレーションの大会づくり
- ・市民が出れる大会を作る(市民大会等)
- ・クライミングフェスを開催

### ③産業連携

#### 地域の名物

- ・コロケ型のクライミングホールドの作成
- ・コロケ型やまいりゅうのチョークボール・チョークバック・ロジンバック・Tシャツなどのグッズ作成
- ・クライミングホールドのキーホルダー販売
- ・ふるさと納税の返礼品としてホールドなど
- ・「落ちない」「壁を超える」にあやかって受験のお守りを作る
- ・中小企業も参加したくなる仕掛け
- ・ポケモン（クライミングに関連するポケモン）とのコラボ
- ・他のスポーツ（スケート、トランポリン等）との連携
- ・飛行場付近にエクストリーム・スポーツを集めて聖地化

### ④プロモーション

#### 市内

- ・市役所の壁にボルダリングのアート
- ・市民の見える場所にボルダリングに関係するもの（ホールド等）を設置
- ・駅前に野口さん、檜崎さんのアート（NIKIのようなイメージ）
- ・バス等の車内放送でPR
- ・駅などでのモニターでPR
- ・マスコットキャラクターやオブジェ・シンボルの作成
- ・マンホールにスポーツクライミングを活用
- ・龍ヶ崎市駅のエスカレーター壁をラッピング
- ・竜ヶ崎線のつり革をホールドにする
- ・市内バスをラッピング
- ・各所のウォールをめぐる、ウォールラリーの実施
- ・クライミングのデジタルマッピング
- ・関係者のSNSでの積極的な発信
- ・市のLINE登録者への発信
- ・電車の窓から見える場所にクライミングウォールを設置
- ・市のイベントなどでボルダリングウォールの出展
- ・「龍」を活用したプロモーション
- ・龍ヶ崎市のスポーツクライミング推進のシンボルとなるロゴを作成
- ・龍ヶ崎市のスポーツクライミング推進の冊子やHP、グッズ等の作成

#### 市外

- ・関東鉄道さんとトップ選手によるウォール巡礼ツアー
- ・鹿島アントラーズの試合でプロモーションを実施
- ・野口氏、檜崎氏による発信（SNS、各種メディア）
- ・海外都市とクライミング友好・姉妹都市の締結
- ・クライミングの動画・SNS・TV配信
- ・スポーツクライミングの推進のPV

### ⑤競技支援

#### アスリート支援

- ・オリンピック等強化選手の合宿地/合宿の誘致・聖地化
- ・クライマーの雇用支援
- ・選手への特産品の差し入れ
- ・選手の海外遠征費用などのサポート
- ・セッターの育成

### ⑥環境整備

#### スポーツクライミング環境

- ・学校体育館にウォール設置
- ・龍ヶ崎市のキャラクター等を活用したクライミングシューズを作り子供たちに貸出
- ・小中学校のクライミング施設を夜は一般に開放
- ・自動調節つきの壁を設置
- ・所属に制限されないトレーニング・練習拠点整備
- ・たつのこ山公園にボルダリング遊具を設置
- ・大きい施設設置
- ・野口さんと大学監修の遊び場
- ・トップアスリートによるたつのこアリーナボルダリングセットの定期プロデュース
- ・クライミング仲間が集えるカフェ・ショップ・エリアをつくる
- ・学校のウォールの定期的なメンテナンスが必要
- ・ヨーカドーと連携した施設
- ・市外からの流入を想定した交通網の整備
- ・AIオンデマンドバスの活用
- ・将来的に宿泊施設の整備
- ・高齢者へクライミングに触れる機会の提供（市内にホールドを設置する）

#### 人材確保

- ・地域おこし協力隊やアルバイトなどによるクライミング環境支援者
- ・クライミングのための移住者向け支援
- ・トップ選手をインストラクターとして選手の派遣